



## **Cisco Unity Connection インストール ガイド** **Installation Guide for Cisco Unity Connection**

リリース 8.x

改訂：2010 年 4 月 28 日

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ  
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ  
りますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ  
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊  
社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLynX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco Unity Connection インストール ガイド リリース 8.x*

© 2010 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2010, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



## CONTENTS

### はじめに vii

対象読者および使用 vii

表記法 vii

Cisco Unity Connection のマニュアル viii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート viii

シスコ製品のセキュリティ viii

## CHAPTER 1

### Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするための必須タスクの概要 1-1

Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト  
(Connection クラスタなし) 1-1

第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定 1-2

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定 1-4

第 3 部 : 電話システムとの連動の設定 1-4

第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力 1-4

第 5 部 : 機能用のシステムの設定 1-7

第 6 部 : ネットワーキングの設定 1-8

第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定 1-8

第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ 1-9

第 9 部 : トレーニング 1-9

Connection クラスタを設定して Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールする  
ためのタスク リスト 1-9

第 1 部 : Connection パブリッシュャ サーバのインストールと設定 1-10

第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定 1-12

第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクライバ サーバのインストールと  
設定 1-12

第 4 部 : 電話システムとの連動の設定 1-14

第 5 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力 1-14

第 6 部 : 機能用のシステムの設定 1-17

第 7 部 : ネットワーキングの設定 1-19

第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定 1-19

第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ 1-19

第 10 部 : トレーニング 1-19

## CHAPTER 2

### オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール 2-1

バージョン 8.x のインストール シナリオ 2-2

Cisco Unity Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール	2-3
サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ)	2-3
Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバインストール中のパッチの適用	2-4
サブスクリバ サーバインストール中のパッチの適用 (Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ)	2-5
サーバの追加と Cisco Unity Connection 8.x クラスタの作成	2-5
Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバの同時インストール	2-6
バージョン 8.x インストール前のタスク	2-7
バージョン 8.x のインストールに関する重要な考慮事項	2-8
バージョン 8.x のインストールに関する FAQ	2-9
インストールにはどのくらい時間がかかりますか。	2-9
ユーザ名およびパスワードは、どのように指定する必要がありますか。	2-9
強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。	2-10
このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。	2-10
サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。	2-10
バージョン 8.x のブラウザ要件	2-11
増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)	2-11
Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更	2-14
8.x インストールにおける DNS 登録の確認	2-14
8.x インストールに関する情報の収集	2-15
Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用	2-21
8.x インストール中のネットワーク エラーの処理	2-21
オペレーティング システムおよび 8.x アプリケーションの新規インストール	2-22
インストール ウィザードの操作	2-22
インストールの開始	2-22
事前準備した設定情報の入力	2-25
パッチの適用	2-26
基本インストールの実行	2-29
Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定	2-31
Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定	2-32
バージョン 8.x インストール後のタスク	2-34
デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更	2-35
サービスのアクティブ化	2-35
ログ ファイルの監査	2-35

仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行 2-35

---

**CHAPTER 3****Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール 3-1**

Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード 3-1

Connection 8.x 言語ファイルのインストール 3-3

Connection 8.x 言語ファイルのディスクからのインストール 3-3

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイル  
のインストール 3-4





## はじめに

ここでは、次の項について説明します。

- 「対象読者および使用」 (P.vii)
- 「表記法」 (P.vii)
- 「Cisco Unity Connection のマニュアル」 (P.viii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.viii)
- 「シスコ製品のセキュリティ」 (P.viii)

## 対象読者および使用

『Cisco Unity Connection インストール ガイド』は、Cisco Unity Connection システムのインストール担当者を対象としています。Microsoft Exchange の E メール メッセージへのアクセスを設定したり、Exchange のカレンダーや連絡先情報へのアクセスを設定する場合は、Microsoft Exchange の実用的な知識が必要です。

## 表記法

表 1 『Cisco Unity Connection インストール ガイド』の表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• キーおよびボタン名 (例: OK を選択します)。</li><li>• ユーザが入力する情報 (例: [ ユーザ名 (Username) ] ボックスに Administrator と入力します)。</li></ul>
<> (山カッコ)	ユーザが値を指定するパラメータを囲むために使用します (例: ブラウザで、 <a href="https://&lt;Cisco Unity Connection サーバの IP アドレス&gt;/cuadmin">https://&lt;Cisco Unity Connection サーバの IP アドレス&gt;/cuadmin</a> に移動します)。
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します (例: Ctrl-Alt-Delete を押します)。
> (右向き山カッコ)	右向きの山カッコは、メニューで選択する順序を表すために使用します (例: Windows の [ スタート (Start) ] メニューで、[ 設定 (Settings) ] > [ コントロールパネル (Control Panel) ] > [ 電話とモデムのオプション (Phone and Modem Options) ] を選択します)。

『Cisco Unity Connection インストール ガイド』では、次の表記法も使用します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



警告

「警告」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。

(このガイドに記載されている安全上の警告の詳細については、  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html) の  
 『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Unity Connection』を参照してください)

## Cisco Unity Connection のマニュアル

Cisco.com 上の Cisco Unity Connection に関するマニュアルの説明と URL については、  
 『Documentation Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x』を参照してください。このマニュアル  
 は Cisco Unity Connection に同梱されていますが、  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/roadmap/8xcucdg.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/roadmap/8xcucdg.html) から入手する  
 こともできます。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新  
 される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂  
 版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー  
 アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできま  
 す。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

## シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国で  
 の法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、  
 輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、および  
 ユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関  
 係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至  
 急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、次の URL で参照できます。  
[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html)



# CHAPTER 1

## Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするための必須タスクの概要

この章は、2つのタスク リストで構成されています。Cisco Unity Connection クラスタを設定するかどうかに応じて、次の該当するタスク リストを使用します。

- 「[Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト \(Connection クラスタなし\)](#)」 (P.1-1)
- 「[Connection クラスタを設定して Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト](#)」 (P.1-9)

## Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし)



(注)

Connection クラスタを設定する場合は、「[Connection クラスタを設定して Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト](#)」 (P.1-9) を参照してください。

Connection クラスタなしで正しく Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするには、次のタスク リストの概略を使用します。各タスクは、『*Cisco Unity Connection インストール ガイド*』およびその他の Cisco Unity Connection のマニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。

リストは次の 9 部に分かれています。

- 「[第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定](#)」 (P.1-2)
- 「[第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定](#)」 (P.1-4)
- 「[第 3 部 : 電話システムとの連動の設定](#)」 (P.1-4)
- 「[第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力](#)」 (P.1-4)
- 「[第 5 部 : 機能用のシステムの設定](#)」 (P.1-7)
- 「[第 6 部 : ネットワーキングの設定](#)」 (P.1-8)
- 「[第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定](#)」 (P.1-8)

- 「第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ」 (P.1-9)
- 「第 9 部 : トレーニング」 (P.1-9)

ネットワークングを使用して複数の Connection サーバに接続している場合は、最初に第 1 部および第 3 部～第 5 部のタスクをすべてのサーバに実行し、第 6 部以降に進みます (第 2 部のタスクは 1 回のみ実行する必要があります)。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

## 第 1 部 : Cisco Unity Connection サーバのインストールと設定

1. 次の要件について確認します。
  - a. Cisco Unity Connection 8.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) を参照してください。



**注意**

選択したサーバや選択した Connection 8.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 8.x Supported Platforms List*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html)) で該当するサーバの表を参照してください。

- b. 電話システムとの連動の要件。該当する Cisco Unity Connection 連動ガイド ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html)) の「Requirements」の項を参照してください。
2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合 : インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください (このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。
  3. 仮想マシン (Connection 8.0(2) 以降のみ) に Connection をインストールする場合 : 『*Cisco Unity Connection 8.x Supported Platforms List*』 のバーチャライゼーションの仕様の表を使用して、ポートの最大数やユーザの最大人数を基に、Connection サーバにどの VMware 設定を展開するかを決定します。その設定に対応する VMware OVA テンプレートを書き留めます。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/supported\\_platforms/8xcucspl.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/supported_platforms/8xcucspl.html) から入手可能です。
  4. 仮想マシンに Connection をインストールする場合 (Connection 8.0(2) 以降のみ、オプション) : タスク 3. で決定した VMware OVA テンプレートをダウンロードします。該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)) の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。  
バーチャライゼーションを手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



- (注) VMware OVA テンプレートのダウンロードの詳細は、バージョン 8.0(2) 以降の『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』に記載されています。
5. 仮想マシンに *Connection* をインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : 『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、*Connection* 仮想マシンをインストールする物理ホストをプロビジョニングします。
  6. 仮想マシンに *Connection* をインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードした場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : テンプレートを展開します。これにより、仮想マシンの作成と設定が行われます。  
仮想マシンに *Connection* をインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードしていない場合 : *Connection* サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
  7. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合 : メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)」の項を参照してください。
  8. 仮想マシンに *Connection* をインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : VMware vSphere Client で independent-persistent モードの *Connection* 仮想マシンに割り当てる仮想ディスクを設定します。これにより、最高のストレージ パフォーマンスが得られます。
  9. 仮想マシンに *Connection* をインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : 仮想マシンで、仮想マシンが最初に DVD 仮想デバイスから起動し、次に仮想ハードディスクから起動するように BIOS の設定を変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
  10. Cisco Unity Connection サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「バージョン 8.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
  11. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合 : 追加の *Connection* 言語ファイルをインストールします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「*Connection 8.x* 言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
  12. *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズするために日本語を使用している場合 : Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをダウンロードおよびインストールします。該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」の項を参照してください。
  13. *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズするために追加の言語を使用している場合 : 対応する Cisco Unified Communications Manager ロケールをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」の項を参照してください。

## 第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

14. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)) の「[Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
15. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『*Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) の「[Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool](#)」の章を参照してください。

## 第 3 部 : 電話システムとの連動の設定

16. Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
17. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

## 第 4 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 4 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います。(Connection Administration へのサインインと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 8.x](#)」の章を参照してください。

第 4 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html))
  - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_mac/guide/8xcucmacx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html))
18. Connection ライセンスを入手してインストールします。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  19. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
    - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 8.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - b. Connection カンパセーションと Custom Keypad Mapping ツール (使用する予定がある場合)。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 8.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - c. ユーザアカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービスクラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 8.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

20. システム計画を策定します。
- a. 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - b. 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - c. デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - d. デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」の項を参照してください。
  - e. 電話と Web ツール アクセスのパスワード ポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのサイン イン ポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - f. 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - g. ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービス クラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add User Accounts in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - h. デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」の項を参照してください。
  - i. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」の項を参照してください。
  - j. デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
21. *Custom Keypad Mapping* ツール を使用している場合 : カスタム キーパッド マッピング キャンパセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。『*System Administration Guide*』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
22. タスク 20. で確認した次のデフォルトについて、適宜変更または新規作成を行います。
- a. スケジュール。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - b. パーティションおよびサーチ スペース。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - c. 規制テーブル。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - d. パスワード、ロックアウト、およびサインインの各ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - e. サービス クラス。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

- f. ユーザ テンプレート。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - g. メールボックス サイズのクォータ。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」の項を参照してください。
  - h. メッセージ エージング ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」の項を参照してください。
  - i. システム同報リスト。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
23. システム設定をテストします。
- a. テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 8.x Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
  - b. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサイン インし、名前を録音して電話パスワードを設定します。電話を切ります。
  - c. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパセッションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
  - d. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサイン インします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホーム ページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
  - e. 必要に応じてシステム設定を修正します。
24. Connection ユーザ データを LDAP ディレクトリ内のユーザ データと同期する場合は、Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 8.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
25. 管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 8.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
26. ユーザ アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 8.x Accounts Individually](#)」、「[Managing User Accounts in Bulk in Cisco Unity Connection 8.x](#)」、「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」、または「[Creating Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
27. 必要に応じて、システム同報リストに個々のユーザを追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」の項を参照してください。
28. タスク 20.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
- a. コール ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - b. ディレクトリ ハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - c. インタビュー ハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

- d. コール ルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

## 第 5 部 : 機能用のシステムの設定

第 5 部のほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html))
  - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_mac/guide/8xcucmacx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html))
29. ユーザが IMAP 電子メール クライアントを使用して、Connection メッセージにアクセスまたは送信する場合 : IMAP クライアントから Connection サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
30. ユーザが Connection Web ツールにアクセスできるか、または IMAP 電子メール クライアントを使用して Connection メッセージにアクセスまたは送信する場合 : タスク 29. の一部として設定済みでない場合は、Connection への Cisco PCA および IMAP アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
31. ユーザが予定表情報または Exchange 連絡先にアクセスできる場合 : 連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
32. ユーザが Connection を使用して外部メッセージストア内の電子メール メッセージにアクセスする場合 : 外部メッセージストアへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Access to Emails in An External Message Store for Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
33. ユーザが SpeechView ボイス メッセージ トランスクリプション機能にアクセスできる場合 : トランスクリプション サービスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Transcription \(SpeechView\) in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
34. ユーザが SMTP または SMS メッセージ通知デバイスを使用する場合 : システムが SMTP または SMS 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up SMTP and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
35. ユーザが Cisco Unity Connection Phone View にアクセスできる場合 : Phone View 機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Phone View in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
36. ユーザが Cisco Unified クライアント アプリケーションを使用して Connection ボイス メッセージにアクセスできる場合 : 次の該当するクライアントを設定します。
- Cisco Unified Personal Communicator の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator](#)」の項を参照してください。
  - Cisco Unified Mobile Communicator の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

- Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)) を参照してください。
37. ユーザがファックスにアクセスできる場合 : Cisco Fax Server との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  38. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator* にアクセスできる場合 : 機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  39. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Greetings Administrator* にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合 : 機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator](#)」の項を参照してください。
  40. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in 8.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章 Cisco Unity Connection を参照してください。

## 第 6 部 : ネットワーキングの設定

41. ネットワーキングを適宜設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「[Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

## 第 7 部 : ユーザ ワークステーションの設定

第 7 部のタスクは、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_setup/guide/8xcucuwsx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_setup/guide/8xcucuwsx.html)) の章を参照しています。

42. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「[Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
43. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「[Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
44. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「[Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 8.x Voice Messages](#)」の章を参照してください (「[Creating and Configuring an Account in Microsoft Outlook](#)」の項には、Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を設定する手順も含まれています。Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を使用している場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)) を参照してください)。
45. ユーザが、使用可能になっている Connection 機能にアクセスし、使用できることを確認します。

## 第 8 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

46. 『Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcu\\_cdrsag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcu_cdrsag.html)) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

## 第 9 部 : トレーニング

47. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『User Workstation User Setup Guide』の「User Orientation in Cisco Unity Connection 8.x」および「Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。

# Connection クラスタを設定して Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト



(注) Connection クラスタを設定しない場合は、「Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト (Connection クラスタなし) (P.1-1)」を参照してください。

Connection クラスタを設定して正しく Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするには、次のタスク リストの概略を使用します。各タスクは、『Cisco Unity Connection インストール ガイド』およびその他の Cisco Unity Connection のマニュアルの詳細な手順を参照しています。インストールを正常に完了するには、マニュアルに従ってください。

タスク リストに従うと、Connection サーバのインストールと設定から、ユーザおよび通話管理データの Connection システムへの入力、IMAP クライアントを使用したボイス メッセージへのアクセスなどのオプション機能の設定、Connection データのバックアップまで、Cisco Unity Connection システムのインストールを完了できます。パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクリバ サーバにレプリケートされます。

リストは次の 10 部に分かれています。

- 「第 1 部 : Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定」 (P.1-10)
- 「第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定」 (P.1-12)
- 「第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクリバ サーバのインストールと設定」 (P.1-12)
- 「第 4 部 : 電話システムとの連動の設定」 (P.1-14)
- 「第 5 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力」 (P.1-14)
- 「第 6 部 : 機能用のシステムの設定」 (P.1-17)
- 「第 7 部 : ネットワーキングの設定」 (P.1-19)
- 「第 8 部 : ユーザ ワークステーションの設定」 (P.1-19)

- 「第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ」 (P.1-19)
- 「第 10 部 : トレーニング」 (P.1-19)

ネットワーキングを使用してネットワークへの複数の Connection クラスタに接続している場合は、最初にクラスタを設定して、次にネットワークを設定します。最初のクラスタには、第 1 部～第 6 部のタスクを実行します。2 つ目以降のクラスタには、第 1 部と第 3 部～第 6 部のタスクを実行します。リストの第 7 部以降に進みます。

タスクの中には、特定の状況にのみ該当するものがあります。その場合には、その具体的な状況を示します。タスクがお客様の状況に該当しない場合は、スキップしてください。

## 第 1 部 : Connection パブリッシャ サーバのインストールと設定

1. 次の要件について確認します。
  - a. Cisco Unity Connection 8.x システムのシステム要件。『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) を参照してください。
2. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合 : インストールする追加の Connection 言語ファイルをダウンロードします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード」の項を参照してください (このタスク リストでは、インストールの後半で言語ファイルをインストールするタイミングが通知されます)。
3. 仮想マシンに Connection パブリッシャ サーバまたはサブスクリバサーバをインストールする場合 (Connection 8.0(2) 以降のみ) : 『*Cisco Unity Connection 8.x Supported Platforms List*』のバーチャライゼーションの仕様の表を使用して、ポートの最大数やユーザの最大人数を基に、仮想マシンにどの VMware 設定を展開するかを決定します。その設定に対応する VMware OVA テンプレートを書き留めます。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/supported\\_platforms/8xcucspl.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/supported_platforms/8xcucspl.html) から入手可能です。



### 注意

選択したサーバや選択した Connection 8.x の設定によっては、メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合があります。ご使用のサーバにメモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要かどうかを確認するには、『*Cisco Unity Connection 8.<x> Supported Platforms List*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html)) で該当するサーバの表を参照してください。



### 注意

パブリッシャ サーバとサブスクリバサーバの両方を仮想マシンにインストールする場合、両方のサーバに同じ VMware 設定を使用する必要があります。

4. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバまたはサブスクリバ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ、オプション) : タスク 3. で決定した VMware OVA テンプレートをダウンロードします。該当する『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)) の「Installing Cisco Unity Connection for the First Time on a Virtual Machine」の項を参照してください。  
バーチャライゼーションを手動で設定することもできます。その場合は、OVA テンプレートは必要ありません。



(注) VMware OVA テンプレートのダウンロードの詳細は、バージョン 8.0(2) 以降の『*Release Notes for Cisco Unity Connection*』に記載されています。

5. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : 『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、*Connection* パブリッシャ仮想マシンをインストールする物理ホストをプロビジョニングします。
6. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードした場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : テンプレートを展開します。これにより、仮想マシンの作成と設定が行われます。  
仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールして、タスク 4. で VMware OVA テンプレートをダウンロードしていない場合 : *Connection* パブリッシャ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
7. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバを、物理サーバに *Connection* サブスクリバ サーバをそれぞれインストールして、仮想マシンの空きディスク領域の合計が物理サーバよりも少ない場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : *Connection* パブリッシャ仮想マシンの空きディスク領域の合計がサブスクリバ物理サーバ以上になるように、VMware 仮想マシン ハードウェアの設定を変更します。  
空きディスク領域の合計とは、RAID 設定のアカウントティング後に *Connection* によって使用可能なディスク領域のことです (たとえば、RAID 1 として設定された 2 台の 146 GB のハードディスクでは、空きディスク領域の合計は 146 GB のみとなります)。
8. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合 : メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)」の項を参照してください。
9. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : VMware vSphere Client で independent-persistent モードの *Connection* 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これにより、最高のストレージ パフォーマンスが得られます。
10. 仮想マシンに *Connection* パブリッシャ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : 仮想マシンで、仮想マシンが最初に DVD 仮想デバイスから、次に仮想ハードディスクから起動するように BIOS の設定を変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。

11. Connection パブリッシャ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール」の章の「バージョン 8.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
12. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合 : 追加の Connection 言語ファイルをパブリッシャ サーバにインストールします。このマニュアルの「Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール」の章の「Connection 8.x 言語ファイルのインストール」の項を参照してください。
13. Cisco Unity Connection Administration をローカライズするために日本語を使用している場合 : Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードおよびインストールします。該当する『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」の項を参照してください。
14. Cisco Personal Communications Assistant をローカライズするために追加の言語を使用している場合 : 対応する Cisco Unified Communications Manager ロケールをパブリッシャ サーバにダウンロードおよびインストールします。『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html)) の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」の項を参照してください。

## 第 2 部 : 管理者のワークステーションの設定

15. 管理者のワークステーションのブラウザを Cisco Unity Connection Web アプリケーションにアクセスできるように設定します。『System Administration Guide for Cisco Unity Connection』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucagx.html)) の「Configuring the Browser on an Administrator Workstation in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。
16. 管理者のワークステーションに Real-Time Monitoring Tool ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html)) の「Installing and Configuring Real-Time Monitoring Tool」の章を参照してください。

## 第 3 部 : クラスタの設定、および Connection サブスクライバ サーバのインストールと設定

17. Cisco Unity Connection クラスタを設定します。『Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/cluster\\_administration/guide/8xcuccagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/cluster_administration/guide/8xcuccagx.html)) の「Configuring a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章を参照してください。
18. 仮想マシンに Connection サブスクライバ サーバをインストールする場合 (Connection 8.0(2) 以降のみ) : 『System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項に従って、Connection サブスクライバ仮想マシンをインストールする物理ホストをプロビジョニングします。

19. 仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードした場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : テンプレートを展開します。これにより、仮想マシンの作成と設定が行われます。

仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバをインストールして、タスク 4. で *VMware OVA* テンプレートをダウンロードしていない場合 : サブスクリバ サーバに仮想マシンを作成し、仮想マシンのハードウェア プロパティを設定して、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Requirements for Installing a Cisco Unity Connection Virtual Machine」の項の設定に一致するようにします。
20. 仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバを、物理サーバに *Connection* パブリッシャ サーバをそれぞれインストールして、仮想マシンの空きディスク領域の合計が物理サーバよりも少ない場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : *Connection* サブスクリバ仮想マシンの空きディスク領域の合計がパブリッシャ物理サーバ以上になるように、*VMware* 仮想マシン ハードウェアの設定を変更します。

空きディスク領域の合計とは、RAID 設定のアカウントリング後に *Connection* によって使用可能なディスク領域のことです (たとえば、RAID 1 として設定された 2 台の 146 GB のハードディスクでは、空きディスク領域の合計は 146 GB のみとなります)。
21. メモリのアップグレードやハードディスクの交換が必要な場合 : メモリのアップグレードやハードディスクの交換を適宜行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 8.x* のインストール」の章の「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)」の項を参照してください。
22. 仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : *VMware vSphere Client* で independent-persistent モードの *Connection* 仮想マシンに割り当てられている仮想ディスクを設定します。これにより、最高のストレージ パフォーマンスが得られます。
23. 仮想マシンに *Connection* サブスクリバ サーバをインストールする場合 (*Connection 8.0(2)* 以降のみ) : 仮想マシンで、仮想マシンが最初に DVD 仮想デバイスから、次に仮想ハード ディスクから起動するように BIOS の設定を変更します。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 8.x* のインストール」の章の「*Cisco Unity Connection 8.x* 仮想マシンの起動順序の変更」の項を参照してください。
24. *Connection* サブスクリバ サーバのセットアップと設定を行います。このマニュアルの「オペレーティング システムおよび *Cisco Unity Connection 8.x* のインストール」の章の「バージョン 8.x のインストール シナリオ」の項から開始します。
25. 英語 (米国) 以外の言語を使用している場合 : サブスクリバ サーバに、タスク 12. でインストールしたのと同じ *Connection* 言語ファイルをインストールします。
26. *Cisco Unity Connection Administration* をローカライズするために日本語を使用している場合 : サブスクリバ サーバに、タスク 13. でインストールした *Cisco Unified Communications Manager* の日本語ロケールをインストールします。
27. *Cisco Personal Communications Assistant* をローカライズするために追加の言語を使用している場合 : サブスクリバ サーバに、タスク 14. でインストールしたのと同じ *Cisco Unified Communications Manager* のロケールをインストールします。



(注)

これ以降、パブリッシャ サーバに入力した情報や設定は、サブスクリバ サーバにレプリケートされます。

## 第 4 部 : 電話システムとの連動の設定

28. パブリッシャ サーバに、Cisco Unity Connection と電話システムとの連動を設定します。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html) で該当する Cisco Unity Connection 連動ガイドを参照してください。
29. Cisco Unity Connection に付属のすべてのソフトウェアを、安全で容易にアクセスできる場所に保管します。

## 第 5 部 : ユーザおよび通話管理データのシステムへの入力

第 5 部のタスクの多くは、Cisco Unity Connection Administration を使用して行います (Connection Administration へのサインインと使用方法の詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Accessing and Using Cisco Unity Connection Administration in 8.x](#)」の章を参照してください)。

第 5 部のタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html))
  - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_mac/guide/8xcucmacx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html))
  - 『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/cluster\\_administration/guide/8xuccagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/cluster_administration/guide/8xuccagx.html))
30. Connection ライセンスを入手してインストールします。ライセンスは、パブリッシャ サーバとサブスクライバ サーバにインストールする必要があります。『*System Administration Guide*』の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  31. 次の Cisco Unity Connection の概念を十分に理解してください。
    - a. 通話管理。『*System Administration Guide*』の「[Call Management Overview in Cisco Unity Connection 8.x](#)」および「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - b. Connection カンバセーションと Custom Keypad Mapping ツール (使用する予定がある場合)。『*System Administration Guide*』の「[Cisco Unity Connection 8.x Conversation](#)」および「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - c. ユーザアカウントと管理者アカウント、テンプレート、サービス クラス、およびロール。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Introduction to Cisco Unity Connection 8.x Users and Contacts](#)」および「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 8.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
  32. システム計画を策定します。
    - a. 営業時間、営業時間外、および休日を確認します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - b. 通話管理計画を策定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Call Management Plan in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
    - c. デフォルトのパーティションとサーチ スペースを確認し、新しいパーティションとサーチ スペースが必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

- d. デフォルトの規制テーブルを確認し、テーブルの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Overview: Default Restriction Tables](#)」の項を参照してください。
  - e. 電話と Web ツール アクセスのパスワード ポリシーとアカウント ロックアウト ポリシー、および Web ツール アクセスのサイン イン ポリシーを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - f. 必要な管理者アカウントの数と種類、およびアカウントに割り当てるロールを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 8.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
  - g. ユーザに対して有効にする機能と、テンプレートやサービス クラスの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Preparing to Add Cisco Unity Connection 8.x User Accounts](#)」の章を参照してください。
  - h. デフォルトのメールボックス サイズのクォータを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」の項を参照してください。
  - i. デフォルトのメッセージ エージング ポリシーを確認し、変更が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Changing the Message Aging Policy](#)」の項を参照してください。
  - j. デフォルトのシステム同報リストを確認し、同報リストの変更や新規作成が必要かどうかを決定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
33. Custom Keypad Mapping ツール を使用している場合: パブリッシャ サーバで、カスタム キーパッド マッピング カンバセーションに関連付けられているキー マッピングを適宜編集します。『*System Administration Guide*』の「[Custom Keypad Mapping Tool in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
34. タスク 32. で確認した次のデフォルトについて、パブリッシャ サーバで適宜変更または新規作成を行います。
- a. スケジュール。『*System Administration Guide*』の「[Managing Schedules and Holidays in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - b. パーティションおよびサーチ スペース。『*System Administration Guide*』の「[Managing Partitions and Search Spaces in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - c. 規制テーブル。『*System Administration Guide*』の「[Managing Restriction Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - d. パスワード、ロックアウト、およびサイン インの各ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Specifying Password, Sign-In, and Lockout Policies in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - e. サービス クラス。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - f. ユーザ テンプレート。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding, Modifying, or Deleting a User Template in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - g. メールボックス サイズのクォータ。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Specifying Mailbox Size Quotas](#)」の項を参照してください。

- h. メッセージ エージング ポリシー。『*System Administration Guide*』の「[Controlling the Size of Mailboxes in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「Changing the Message Aging Policy」の項を参照してください。
  - i. システム同報リスト。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
35. システム設定をテストします。
- a. パブリッシャ サーバで [ クラスタ管理 (Cluster Management) ] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、パブリッシャ サーバが [ プライマリ (Primary) ] ステータス、サブスライバ サーバが [ セカンダリ (Secondary) ] ステータスであることを確認します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「Administering a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章を参照してください。
  - b. パブリッシャ サーバで、テスト アカウントとして使用する Connection ユーザ アカウントを追加します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection Accounts Individually](#)」の章を参照してください。
  - c. 電話機を使用して Connection にテスト ユーザとしてサイン インし、名前を録音して電話パスワードを設定します。電話を切ります。
  - d. Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパシーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
  - e. Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にテスト ユーザとしてサイン インします。テスト ユーザに必要な COS 権限を付与した場合は、Cisco PCA ホームページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
  - f. 必要に応じてシステム設定を修正します。
  - g. サブスライバ サーバで、テスト ユーザと録音された名前がレプリケートされていることを確認します。
  - h. [ クラスタ管理 (Cluster Management) ] ページの Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスし、サブスライバ サーバのステータスを [ プライマリ (Primary) ] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「Administering a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
  - i. パブリッシャ サーバのステータス (現在 [ セカンダリ (Secondary) ] ステータスに設定されている) を [ 無効化 (Deactivated) ] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「Administering a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。
  - j. Cisco Unity Connection に電話してテスト ユーザとして再度サイン インし、サブスライバ サーバが [ プライマリ (Primary) ] ステータスの際に通話が正しく接続されることを確認します。パスワード、グリーティング、およびユーザに指定されたカンパシーションのバージョンが正しく機能することを確認します。電話機を使用して適用できるすべての機能をテストし、ユーザが正しいサービス クラスを継承したことを確認します。
  - k. Cisco PCA にテスト ユーザとしてサイン インします。Cisco PCA ホームページから該当する Web ツールを参照できることを確認します。
  - l. 必要に応じてシステム設定を修正します。
  - m. [ クラスタ管理 (Cluster Management) ] ページの Cisco Unity Connection Serviceability で、パブリッシャ サーバをアクティブにします。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「Administering a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章の「Manually Changing Server Status」の項を参照してください。

- n. パブリッシャ サーバのステータスを [プライマリ (Primary)] に変更します。『*Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Administering a Cisco Unity Connection 8.x Cluster](#)」の章の「[Manually Changing Server Status](#)」の項を参照してください。
36. Connection ユーザデータを LDAP ディレクトリ内のユーザデータと同期する場合は、パブリッシャ サーバで Connection に LDAP ディレクトリとの連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Integrating Cisco Unity Connection 8.x with an LDAP Directory](#)」の章を参照してください。
37. パブリッシャ サーバで管理者アカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 8.x Accounts Individually](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の章を適宜参照してください。
38. パブリッシャ サーバでユーザアカウントを作成します。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Adding Cisco Unity Connection 8.x Accounts Individually](#)」、「[Managing Cisco Unity Connection 8.x User Accounts in Bulk](#)」、「[Creating Multiple Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from Cisco Unified Communications Manager Users](#)」または「[Creating Cisco Unity Connection 8.x User Accounts from LDAP User Data](#)」の各章を適宜参照してください。
39. パブリッシャ サーバで、必要に応じて個々のユーザをシステム同報リストに追加します。『*System Administration Guide*』の「[Managing System Distribution Lists in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Managing System Distribution List Members](#)」の項を参照してください。
40. パブリッシャ サーバで、タスク 32.b. で策定した通話管理計画を実装し、テストします。
  - a. コールハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - b. ディレクトリハンドラの設定を行います。『*System Administration Guide*』の「[Managing Directory Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - c. インタビューハンドラを作成します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Interview Handlers in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - d. コールルーティングを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Call Routing Tables in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

## 第 6 部：機能用のシステムの設定

Cisco Unity Connection システムで実行した第 6 部のタスクについて、パブリッシャ サーバで情報や設定を入力します。

ほとんどのタスクは、次のマニュアルの章を参照しています。

- 『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html))
  - 『*User Moves, Adds, and Changes Guide for Cisco Unity Connection*』  
([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_mac/guide/8xcucmacx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_mac/guide/8xcucmacx.html))
41. ユーザが IMAP 電子メールクライアントを使用して、Connection メッセージにアクセスまたは送信する場合：IMAP クライアントから Connection サーバへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

42. ユーザが *Connection Web* ツールにアクセスできるか、または *IMAP* 電子メール クライアントを使用して *Connection* メッセージにアクセスまたは送信する場合：タスク 41. の一部として設定済みでない場合は、*Connection* への *Cisco PCA* および *IMAP* アクセスのセキュリティを確保します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring SSL in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Securing Cisco PCA and IMAP Email Client Access to Cisco Unity Connection](#)」の項を参照してください。
43. ユーザが予定表情報または *Exchange* 連絡先にアクセスできる場合：連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating Calendar Integrations in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
44. ユーザが *Connection* を使用して外部メッセージストア内の電子メールメッセージにアクセスする場合：外部メッセージストアへのアクセスを設定します。『*System Administration Guide*』の「[Configuring Access to Emails in An External Message Store for Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
45. ユーザが *SMTP* または *SMS* メッセージ通知デバイスを使用する場合：システムが *SMTP* または *SMS* 通知メッセージを送信できるようにします。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up SMTP and SMS \(SMPP\) Message Notifications in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
46. ユーザが *Cisco Unity Connection Phone View* にアクセスできる場合：Phone View 機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Phone View in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
47. ユーザが *Cisco Unified* クライアント アプリケーションを使用して *Connection* ボイス メッセージにアクセスできる場合：次の該当するクライアントを設定します。
  - *Cisco Unified Personal Communicator* の場合は、『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Access to Voice Messages from the Cisco Unified Personal Communicator](#)」の項を参照してください。
  - *Cisco Unified Mobile Communicator* の場合は、『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Unified Mobility Advantage Integration with Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
  - *Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime* の場合は、該当する『*Release Notes for Cisco Unified Messaging with IBM Lotus Sametime*』（[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)）を参照してください。
48. ユーザがファックスにアクセスできる場合：Cisco Fax Server との連動を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Creating a Cisco Fax Server Integration with Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
49. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Connection Broadcast Message Administrator* にアクセスできる場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Setting Up Broadcast Messaging in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。
50. 管理者またはユーザが *Cisco Unity Greetings Administrator* にアクセスして、電話によるグリーティングを管理する必要がある場合：機能を設定します。『*System Administration Guide*』の「[Managing Recorded Greetings and Recorded Names in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章の「[Setting Up the Cisco Unity Greetings Administrator](#)」の項を参照してください。
51. まだ提供していない追加の機能がある場合は、必要に応じて個々のユーザ アカウントの設定をカスタマイズします。『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』の「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by User Account Settings in Cisco Unity Connection 8.x](#)」および「[Setting Up Features and Functionality That Are Controlled by Class of Service in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

## 第 7 部 : ネットワーキングの設定

52. パブリッシャ サーバにネットワーキングを適宜設定します。複数の Connection クラスタに接続している場合は、すべてのパブリッシャ サーバにネットワーキングを設定します。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html)) の「*Overview of Networking Concepts in Cisco Unity Connection 8.x*」の章を参照してください。

## 第 8 部 : ユーザワークステーションの設定

- 第 8 部のタスクは、『*User Workstation Setup Guide for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/user\\_setup/guide/8xcucuwsx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user_setup/guide/8xcucuwsx.html)) の章を参照しています。
53. Cisco PCA へのアクセスを設定します。「*Setting Up Access to the Cisco Personal Communications Assistant in Cisco Unity Connection 8.x*」の章を参照してください。
  54. Media Master の再生デバイスと録音デバイスを設定します。「*Setting Up Playback and Recording Devices for the Media Master in Cisco Unity Connection 8.x*」の章を参照してください。
  55. Connection ボイス メッセージにアクセスするために IMAP 電子メール アカウントを設定します。「*Configuring an Email Account to Access Cisco Unity Connection 8.x Voice Messages*」の章を参照してください（「*Creating and Configuring an Account in Microsoft Outlook*」の項には、Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を設定する手順も含まれています。Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes を使用している場合は、『*Release Notes for Cisco Unity Connection ViewMail for IBM Lotus Notes*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html)) を参照してください）。
  56. ユーザが、使用可能になっている Connection 機能にアクセスし、使用できることを確認します。

## 第 9 部 : Cisco Unity Connection データのバックアップ

57. パブリッシャ サーバでバックアップを実行します。『*Disaster Recovery System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/drs\\_administration/guide/8xcucdrsag.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/drs_administration/guide/8xcucdrsag.html)) を参照してください。



(注) サードパーティ製のバックアップ アプリケーションはサポートされていません。

## 第 10 部 : トレーニング

58. Cisco Unity Connection システムを使用できるように、ユーザ、オペレータ、およびサポート デスク担当者をトレーニングします。『*User Workstation User Setup Guide*』の「*User Orientation in Cisco Unity Connection 8.x*」および「*Operator and Support Desk Orientation in Cisco Unity Connection 8.x*」の章を参照してください。

■ Connection クラスタを設定して Cisco Unity Connection 8.x システムをインストールするためのタスク リスト



## CHAPTER 2

# オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection 8.x のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- 「バージョン 8.x のインストール シナリオ」 (P.2-2)
  - 「Cisco Unity Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール」 (P.2-3)
  - 「サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ)」 (P.2-3)
  - 「Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバ インストール中のパッチの適用」 (P.2-4)
  - 「サブスクリバ サーバ インストール中のパッチの適用 (Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ)」 (P.2-5)
  - 「サーバの追加と Cisco Unity Connection 8.x クラスタの作成」 (P.2-5)
  - 「Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバの同時インストール」 (P.2-6)
- 「バージョン 8.x インストール前のタスク」 (P.2-7)
- 「バージョン 8.x のインストールに関する重要な考慮事項」 (P.2-8)
- 「バージョン 8.x のインストールに関する FAQ」 (P.2-9)
  - 「インストールにはどのくらい時間がかかりますか。」 (P.2-9)
  - 「ユーザ名およびパスワードは、どのように指定する必要がありますか。」 (P.2-9)
  - 「強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。」 (P.2-10)
  - 「このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。」 (P.2-10)
  - 「サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。」 (P.2-10)
- 「バージョン 8.x のブラウザ要件」 (P.2-11)
- 「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)」 (P.2-11)
- 「Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更」 (P.2-14)
- 「8.x インストールにおける DNS 登録の確認」 (P.2-14)
- 「8.x インストールに関する情報の収集」 (P.2-15)
- 「Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用」 (P.2-21)
- 「8.x インストール中のネットワーク エラーの処理」 (P.2-21)

- 「オペレーティング システムおよび 8.x アプリケーションの新規インストール」 (P.2-22)
  - 「インストール ウィザードの操作」 (P.2-22)
  - 「インストールの開始」 (P.2-22)
  - 「事前準備した設定情報の入力」 (P.2-25)
  - 「パッチの適用」 (P.2-26)
  - 「基本インストールの実行」 (P.2-29)
  - 「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」 (P.2-31)
  - 「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」 (P.2-32)
- 「バージョン 8.x インストール後のタスク」 (P.2-34)
  - 「デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更」 (P.2-35)
  - 「サービスのアクティブ化」 (P.2-35)
  - 「ログ ファイルの監査」 (P.2-35)
- 「仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行」 (P.2-35)

## バージョン 8.x のインストール シナリオ

このマニュアルは、次のようなさまざまなインストール シナリオを実行する際に使用できます。

- サーバにソフトウェアをインストールします。Connection クラスタにおいて、最初のサーバ（パブリッシャ サーバ）にソフトウェアをインストールします。
- Connection クラスタにおいて、2 番目のサーバ（サブスクリバ サーバ）にソフトウェアをインストールします。
- サーバへのソフトウェアのインストール中にパッチを適用します。Connection クラスタにおいて、最初のサーバ（パブリッシャ サーバ）のインストール中にパッチをインストールします。
- Connection クラスタにおいて、2 番目のサーバ（サブスクリバ サーバ）へのソフトウェアのインストール中にパッチを適用します。
- サーバを作成して Connection クラスタに追加します。

次の各項では、これらのインストール シナリオにおいてそれぞれ実行する必要があるタスクの概略を示します。また、各タスクの概略と共に本マニュアルの別の項へのリンクを記載しています。このリンクから各タスクの詳細情報を参照できます。



(注)

サーバまたはクラスタの置換の詳細については、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』（[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html)）の「Replacing Cisco Unity Connection 8.x Servers or Hard Disks」の章を参照してください。

## Cisco Unity Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール

Cisco Unity Connection サーバにソフトウェアをインストールする場合や、Connection クラスタ設定時に最初のサーバ（パブリッシャ サーバ）にソフトウェアをインストールする場合は、表 2-1 の手順に従います。

表 2-1 Connection サーバまたはパブリッシャ サーバへのソフトウェアのインストール

	タスク	詳細情報
ステップ 1	サイトに適用されるインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前のタスクの一覧は、表 2-6 (P.2-7) を参照してください。
ステップ 2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-22) を参照してください。
ステップ 3	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 4	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] ウィンドウが表示されたら [はい (Yes)] を選択し、単独の Connection サーバとして、または Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバとして、新しいサーバを設定します。	ステップ 10 の「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 5	手順に従って、サーバを設定します。	「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」(P.2-31) を参照してください。
ステップ 6	サイトに適用されるインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後のタスクの一覧は、表 2-9 (P.2-34) を参照してください。

## サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ)

Cisco Unity Connection クラスタ設定時にクラスタ内の 2 番目のサーバ（サブスクリバ サーバ）にソフトウェアをインストールする場合は、表 2-2 の手順に従います。

表 2-2 サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール

	タスク	詳細情報
ステップ 1	サイトに適用されるインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前のタスクの一覧は、表 2-6 を参照してください。
ステップ 2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-22) を参照してください。
ステップ 3	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 4	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバとして、新しいサーバを設定します。	ステップ 10 の「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。

表 2-2 サブスクリバ サーバへのソフトウェアのインストール (続き)

	タスク	詳細情報
ステップ 5	手順に従って、クラスタ内のサブスクリバ サーバを設定します。	「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」(P.2-32) を参照してください。
ステップ 6	サイトに適用されるインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後のタスクの一覧は、表 2-9 を参照してください。

## Connection 8.x サーバまたは Cisco Unity Connection 8.x クラスタ内のパブリッシャ サーバ インストール中のパッチの適用

インストール中にパッチをダウンロードして適用し、新しいリリースにアップグレードできます。Connection サーバのインストール中、または Connection クラスタ内の最初のサーバ (パブリッシャ サーバ) のインストール中にパッチを適用する場合は、表 2-3 の手順に従います。

表 2-3 Connection サーバまたはパブリッシャ サーバ インストール中のパッチの適用

	タスク	詳細情報
ステップ 1	サイトに適用されるインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前のタスクの一覧は、表 2-6 を参照してください。
ステップ 2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-22) を参照してください。
ステップ 3	手順に従って、ソフトウェア パッチを適用します。	「パッチの適用」(P.2-26) を参照してください。
ステップ 4	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 5	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] ウィンドウが表示されたら [はい (Yes)] を選択し、単独の Connection サーバとして、または Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバとして、新しいサーバを設定します。	ステップ 10 の「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 6	手順に従って、クラスタ内のパブリッシャ サーバを設定します。	「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」(P.2-31) を参照してください。
ステップ 7	サイトに適用されるインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後のタスクの一覧は、表 2-9 を参照してください。

## サブスクリバサーバインストール中のパッチの適用（Cisco Unity Connection 8.x クラスタのみ）

インストール中にパッチをダウンロードして適用し、新しいリリースにアップグレードできます。Cisco Unity Connection クラスタ内の 2 番目のサーバ（サブスクリバサーバ）のインストール中にパッチを適用する場合は、表 2-4 の手順に従います。

表 2-4 サブスクリバサーバインストール中のパッチの適用

	タスク	詳細情報
ステップ 1	サイトに適用されるインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前のタスクの一覧は、表 2-6 を参照してください。
ステップ 2	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。	「インストールの開始」(P.2-22) を参照してください。
ステップ 3	手順に従って、ソフトウェア パッチを適用します。	「パッチの適用」(P.2-26) を参照してください。
ステップ 4	基本的なインストールの実行手順に従います。	「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 5	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、Connection クラスタ内のサブスクリバサーバとして、新しいサーバを設定します。	ステップ 10 の「基本インストールの実行」(P.2-29) を参照してください。
ステップ 6	手順に従って、クラスタ内のサブスクリバサーバを設定します。	「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバサーバの設定」(P.2-32) を参照してください。
ステップ 7	サイトに適用されるインストール後のタスクをすべて実行します。	インストール後のタスクの一覧は、表 2-9 を参照してください。

## サーバの追加と Cisco Unity Connection 8.x クラスタの作成

サーバを追加して Connection クラスタを作成する場合は、表 2-5 の手順に従います。

表 2-5 サーバの追加と Cisco Unity Connection クラスタの作成

	タスク	詳細情報
ステップ 1	Connection システムを変更する前に、最新のバックアップファイルがあることを確認します。	詳細については、『 <i>Disaster Recovery System Administration Guide</i> 』を参照してください。
ステップ 2	サイトに適用されるインストール前のタスクをすべて実行します。	インストール前のタスクの一覧は、表 2-6 を参照してください。
ステップ 3	サブスクリバサーバの追加をサポートする Cisco Unity Connection クラスタ ライセンスを入手します。	詳細については、『 <i>System Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』 ( <a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html</a> ) の「Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x」の章を参照してください。

表 2-5 サーバの追加と Cisco Unity Connection クラスタの作成 (続き)

タスク	詳細情報
ステップ 4	サブスクリバサーバをインストールする前に、パブリッシャサーバで Connection クラスタを設定したことを確認します。
ステップ 5	インストールを予定している各サーバの設定内容を記録します。
ステップ 6	パブリッシャサーバとサブスクリバサーバには、同じバージョンのソフトウェアをインストールしてください。正しいバージョンが DVD がない場合は、Cisco.com から更新ソフトウェアをダウンロードするか、インストール処理中にパッチを適用する手順に従う必要があります。
ステップ 7	手順に従って、DVD からサーバへのソフトウェアのインストールを開始します。
ステップ 8	DVD にある Cisco Unity Connection のバージョンのアップグレードが必要な場合は、ソフトウェアパッチの適用手順に進みます。
ステップ 9	基本的なインストールの実行手順に従います。
ステップ 10	[最初のノードの設定 (First Node Configuration)] が表示されたら [いいえ (No)] を選択し、サブスクリバサーバとして新しいサーバを設定します。
ステップ 11	サブスクリバサーバの設定手順に従います。
ステップ 12	サイトに適用されるインストール後のタスクをすべて実行します。

## Cisco Unity Connection 8.x クラスタへのパブリッシャサーバとサブスクリバサーバの同時インストール

Connection クラスタをインストールする際、パブリッシャサーバとサブスクリバサーバのインストールを同時に開始できます。インストールプログラムにおいて最初のサーバ (パブリッシャサーバ) を最初のノードとして指定するよう求められたら、パブリッシャサーバへのインストールが完了するまでサブスクリバサーバへのインストールを停止します。その後、パブリッシャサーバで Connection クラスタを設定してから、サブスクリバサーバへのインストールを再開できます。パフォーマンスを最適化するため、インストールプログラムにおいて [続行 (Proceed)] オプションではなく、[スキップ (Skip)] オプションを選択する必要があります。

## バージョン 8.x インストール前のタスク

表 2-6 は、Cisco Unity Connection を正常にインストールできるようにするため実行しておく必要がある、インストール前のタスクの一覧です。

表 2-6 インストール前のタスク

タスク	重要な注意事項
ステップ 1 このドキュメントをすべて読み、インストール手順をよく理解します。	
ステップ 2 製造元が提供するユーティリティを実行し、新しいサーバのハードウェア（ハードドライブ、メモリなど）の整合性を確認します。	
ステップ 3 サポートされるハードウェアの一覧にサーバが記載されており、クラスタの負荷をサポートするための適切な容量がサーバにあることを確認します。	サーバ モデルの容量の詳細については、『 <i>Cisco Unity Connection 8.&lt;x&gt; Supported Platforms List</i> 』（ <a href="http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html">http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html</a> ）を参照してください。 当初のシステム設定以降の規模拡張も考慮してください。
ステップ 4 Connection クラスタにおいて NTP サーバからシステム時刻を取得している場合は、サブスクリバサーバをインストールする前に、パブリッシャサーバが NTP サーバと同期できるか確認します。  パブリッシャサーバの NTP ステータスを確認するには、パブリッシャサーバでコマンドラインインターフェイスにログインして次のコマンドを入力します。 <b>utils ntp status</b>	詳細については、『 <i>Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions</i> 』を参照してください。   <b>注意</b> パブリッシャサーバが NTP サーバとの同期に失敗する場合、サブスクリバサーバのインストールも失敗する可能性があります。
ステップ 5 Connection クラスタにおいて、パブリッシャサーバとサブスクリバサーバの間でネットワークアドレス変換（NAT）またはポートアドレス変換（PAT）を実行しないでください。	
ステップ 6 新しいサーバを接続するネットワークインターフェイスカード（NIC）の速度とスイッチポートの二重化設定を記録します。  NIC 設定は、サーバとスイッチポートで同じ設定にする必要があります。GigE（1000/FULL）の場合、NIC およびスイッチポートの設定を Auto/Auto に設定する必要があります。固定値を設定しないでください。	シスコサーバに接続されているスイッチポートでは、すべて PortFast を有効にしてください。PortFast を有効にすることで転送遅延（スパニングツリープロトコル（STP）の学習状態およびリッスン状態から転送状態に変化するまで、ポートが待機する時間）が短縮され、スイッチによりポートはブロック状態から転送状態にすばやく切り替えられます。
ステップ 7 DNS を使用する場合、Cisco Unity Connection のインストールを予定しているすべてのサーバが、DNS で適切に登録されていることを確認します。	詳細については、「 <a href="#">8.x インストールにおける DNS 登録の確認</a> 」（P.2-14）を参照してください。
ステップ 8 Cisco Unity Connection ライセンスファイルを入手します。	詳細については、『 <i>System Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』（ <a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html</a> ）の「 <a href="#">Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x</a> 」の章を参照してください。

表 2-6 インストール前のタスク (続き)

	タスク	重要な注意事項
ステップ 9	インストールを予定している各サーバの設定内容を記録します。	設定内容の記録については、表 2-7 を参照してください。
ステップ 10	2 番目のサーバ (サブスライバサーバ) をインストールする前に、パブリッシャサーバで Connection クラスタを設定します。	詳細については、『 <i>Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection</i> 』 ( <a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/cluster_administration/guide/8xcucca_gx.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/cluster_administration/guide/8xcucca_gx.html</a> ) の「Configuring a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章を参照してください。

## バージョン 8.x のインストールに関する重要な考慮事項

インストールを進める前に、以下の要件および推奨事項について検討してください。

- 既存のサーバにインストールする場合は、ハードドライブがフォーマットされ、ドライブ上の既存データがすべて上書きされることに注意してください。
- バックアップ電源を供給しシステムを保護するため、各 Cisco Unity Connection サーバを無停電電源装置 (UPS) に接続するようにしてください。UPS に接続していない場合、場合によっては物理メディアが損傷し、インストールし直す必要があります。
- Connection クラスタにおいては、以下に従ってください。
  - Cisco Unity Connection ソフトウェアは、最初にパブリッシャサーバにインストールし、次にサブスライバサーバにインストールしてください。
  - パブリッシャサーバでセキュリティパスワードを入力する際、パスワードを書き留めて保管しておいてください。サブスライバサーバで同じパスワードを入力する必要があります。
  - クラスタに両方のサーバをインストールした後、サブスライバサーバがパブリッシャサーバに接続できることを確認してください。
  - 中断による影響を抑えるため、ソフトウェアのインストールはオフピーク時またはメンテナンス時に行ってください。
  - クラスタ内の両方のサーバでは、同じリリースの Cisco Unity Connection を実行する必要があります。ただし、クラスタソフトウェアをアップグレードする際に限り、処理のため一時的に不一致の状態にできます。
- サーバが固定の IP アドレスを取得するようにするには、固定 IP アドレスを使用してサーバを設定します。
- インストール中は、設定作業を実行しないでください。
- シスコで検証済みのアプリケーションのインストールは、インストールが完了するまで行わないでください。
- インストールプログラム実行中に入力するディレクトリ名およびファイル名は、大文字と小文字が区別されるので注意してください。
- 160 GB SATA ディスクドライブ搭載のサーバモデル 7825 I3 でのディスクミラーリングには、約 3 時間かかります。
- 250 GB SATA ディスクドライブ搭載のサーバモデル 7828 I3 でのディスクミラーリングには、約 4 時間かかります。
- インストールを進める前に、説明をよく読んでください。

## バージョン 8.x のインストールに関する FAQ

この項では、よく寄せられる質問とそれに対する回答を記載します。この項は、インストールを開始する前によく確認してください。

### インストールにはどのくらい時間がかかりますか。

インストール前後のタスクを除くインストール処理全体にかかる時間は 45 ～ 90 分間です。所要時間はサーバのタイプによって異なります。

### ユーザ名およびパスワードは、どのように指定する必要がありますか。



(注)

システムはパスワードの強固さをチェックします。強固なパスワードの作成に関するガイドラインについては、「[強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。](#)」(P.2-10)を参照してください。

インストール中に指定しなければならないユーザ名およびパスワードは、次のとおりです。

- 管理者アカウント ユーザ名およびパスワード
- アプリケーション ユーザ名およびパスワード
- セキュリティ パスワード

#### 管理者アカウント ユーザ名およびパスワード

管理者アカウント ユーザ名およびパスワードは、以下にログインする際に使用します。

- Cisco Unified Communications Operating System Administration
- 障害復旧システム
- コマンドライン インターフェイス

管理者アカウント ユーザ名およびパスワードを指定する際は、次のガイドラインに従ってください。

- 管理者アカウント ユーザ名：アルファベットで始まる名前である必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。
- 管理者アカウント パスワード：6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

コマンドライン インターフェイスを使用して、管理者アカウント パスワードを変更したり、新しい管理者アカウントを追加したりできます。詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions*』を参照してください。

#### アプリケーション ユーザ名およびパスワード

アプリケーション ユーザ名およびパスワードは、システムにインストールされている以下のようなアプリケーションにアクセスする際に使用します。

- Cisco Unity Connection Administration
- Cisco Unified Serviceability
- Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool

アプリケーション ユーザー名およびパスワードを指定する際は、次のガイドラインに従ってください。

- アプリケーション ユーザ名：アルファベットで始まる名前である必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。
- アプリケーション ユーザ パスワード：6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

コマンドライン インターフェイスを使用して、アプリケーション ユーザ名およびパスワードを変更できます。詳細については、『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions*』を参照してください。

### セキュリティ パスワード

クラスタリングが設定されている場合、システムはこのパスワードを使用して、パブリッシャ サーバおよびサブスクリバ サーバ間の通信を認証します。パスワードは、両方のサーバで同一にする必要があります。

セキュリティ パスワードは 6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。

## 強固なパスワードとはどのようなパスワードですか。

インストール ウィザードは、入力されたパスワードの強固さをチェックします。強固なパスワードを作成するには、次の推奨事項に従ってください。

- 大文字と小文字を併用します。
- 文字と数字を併用します。
- ハイフンと下線を含めます。
- 長いパスワードほど強固であり、短いパスワードより安全であることに留意してください。

以下のようなパスワードは避けてください。

- 固有名詞や辞書に載っている単語など、意味を持つ単語は使用しないでください。また、これらと数字を組み合わせて使用することも避けてください。
- 意味を持つ単語を逆向きに読んだ語句も使用しないでください。
- aaabbb、qwerty、zyxwvuts、123321 など、一定のパターンの語句や数字は使用しないでください。
- 他の言語において意味を持つ単語は使用しないでください。
- 誕生日、郵便番号、子供やペットの名前など、個人情報を使用しないでください。

## このインストールにおいてサポートされるサーバは、どのようなサーバですか。

サポートされるサーバの詳細については、『*Cisco Unity Connection 8.<x> Supported Platforms List*』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html)) を参照してください。

## サーバに他のソフトウェアをインストールできますか。

ソフトウェアのインストールおよびアップグレードは、すべて Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して行う必要があります。システムがアップロードおよび処理できるのは、シスコが承認したソフトウェアのみです。承認されていないサードパーティー製または Windows ベースのソフトウェア アプリケーションはインストールまたは使用できません。

## バージョン 8.x のブラウザ要件

Cisco Unified Serviceability、Cisco Unified Communications Operating System Administration、および障害復旧システムへは、以下のブラウザを使用してアクセスできます。

- Microsoft Internet Explorer 6.x または 7.x
- Netscape Navigator 7.1 以降

Cisco Unity Connection Administration および Cisco Unity Connection Serviceability アクセス用の最新のブラウザ要件については、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/requirements/8xcucsysreqs.html)) の「Software Requirements—Administrator Workstations」の項を参照してください。

## 増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換（一部の 8.x サーバのみ）



(注)

メモリ増設やハードディスク交換の必要がないサーバを設置する場合は、次の項に進んでください。

既存の Cisco Unity Connection システムをバージョン 8.x にアップグレードする場合で、ユーザーデータや音声メッセージを保持したい場合は、『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html)) の該当する章を参照してください。

Cisco Unity Connection との使用が認められているサーバの一部では、以下の操作が必要です。

- 設定内の Connection 7.x を実行するためのメモリ増設。
- 音声認識とデジタル ネットワークの両方が設定されている場合に、指定した数の Connection ユーザをサポートするためのメモリ増設。
- Connection クラスタをサポートするためのハードディスク交換。

『*Cisco Unity Connection 8.<x> Supported Platforms List*』

([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html)) の該当するサーバごとの表を参照してください。



警告

オン/オフのスイッチがあるシステムでは、電源をオフにし電源コードを抜いてから作業を行ってください。ステートメント 1



警告

電話網電圧への接触を防ぐため、シャーシを開ける前には電話網ケーブルを抜いてください。ステートメント 2



警告

本装置の設置および保守は、必ず AS/NZS 3260 Clause 1.2.14.3 Service Personnel に定められているサービス担当者が行ってください。ステートメント 88



警告

カードの静電破壊を防止するため、この手順を実行中は接地されたリスト ストラップを着用してください。バックプレーンには、手や金属製の工具で直接触れないでください。感電のおそれがあります。ステートメント 94



警告

保護カバーは製品の重要な一部です。保護カバーを取り付けていない状態で装置を操作しないでください。カバーを所定の位置に取り付けていない状態での装置の操作は、安全規格に不適合になります。火災または感電事故が発生する危険性があります。ステートメント 117



警告

雷の発生中はシステムに手を加えず、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

この取り付け手順は、システムを電源に接続する前に読んでください。ステートメント 1004



警告

ラックに本装置を取り付ける際やラック内の本装置をメンテナンスする際は、ケガを防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを特に慎重に確認してください。安全を確保するため、次のガイドラインに従ってください。

- ラックに本装置のみを設置する場合は、ラックの一番下に取り付けてください。
- 装置が部分的に設置されているラックに本装置を設置する場合は、最も重い装置をラックの一番下に取り付け、下から上へ順番に取り付けてください。
- スタビライザが付属するラックの場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックへの装置を取り付けやラック内の装置のメンテナンスを行ってください。ステートメント 1006



警告

バッテリーの交換は正しく行わないと、爆発する危険性があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みバッテリーは、製造元の指示に従って処分してください。ステートメント 1015



警告

本装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、鍵、またはその他のセキュリティ手段によってのみ出入りが可能な場所のことです。ステートメント 1017



警告

感電を防ぐため、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートでは、共に RJ-45 コネクタが使用されています。ケーブルを接続する際、注意してください。ステートメント 1021



警告

火災の危険性を抑えるため、必ず 26 AWG 以上の太さの電話線コードを使用してください。ステートメント 1023



警告

本装置は接地する必要があります。接地線を傷付けたり、接地線を適切に取り付けずに装置を操作したりしないでください。接地が適切かどうかわからない場合は、適切な電気検査機関または電気技術者に問い合わせてください。ステートメント 1024



警告

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3 つの重要な役割があります。シャーシ内の危険な電圧および電流が外部に漏れないようにすること、他の装置の障害を起こす可能性がある電磁干渉 (EMI) を内部に留めること、およびシャーシ内を冷却する空気の経路を保つことです。カード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーが、すべて所定の位置にセットされていない状態でのシステムの操作は行わないでください。ステートメント 1029



警告

本装置の設置、交換、メンテナンスは、必ず、訓練を受け資格を得ている担当者が行ってください。ステートメント 1030



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

(上記の安全上の警告の各国語版については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Unity Connection*』 ([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/regulatory/compliance/ucwarns.html)) を参照してください)

### 増設メモリの取り付けおよびハードディスクの交換手順 (一部のサーバのみ)

**ステップ 1** カバーを取り外します。

**ステップ 2** メモリの増設を行わない場合は、**ステップ 3** に進んでください。

メモリ モジュールを適切なスロットまたは場所に取り付けます。取り付け場所は、サーバ モデルによって異なります。該当する『*Cisco Unity Connection Supported Platforms List*』を参照してください。



注意

新しいメモリ モジュールを誤ったスロットに取り付けると、取り付けられたモジュールをサーバおよびオペレーティング システムが認識できず、Cisco Unity Connection のパフォーマンスが低下することがあります。

**ステップ 3** ハードディスクの交換を行わない場合は、**ステップ 4** に進んでください。



注意

既存のハードディスクを取り外し、取り外したハードディスクと同数のハードディスクを取り付ける必要があります。数が異なると、Cisco Unity Connection のインストールが失敗します。

次の手順に従って、ハードディスクを交換します。

- a. どのハードディスクがどのハードディスク スロットに取り付けられているかなど、サーバ内にあるハードディスクの現在の場所を記録します。交換が失敗して現在の構成に戻す場合に、既存のハードディスクをそれぞれの現在の位置に戻す必要があります。
- b. サーバからドライブトレイを取り外します。

- c. ドライブ トレイから古いハードディスクを取り外します。
- d. ドライブ トレイに新しいハードディスクを取り付けます。
- e. ドライブ トレイを、手順 a. で記録した場所に取り付けなおします。

ステップ 4 カバーを取り付けなおします。

## Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更

次の手順を実行して BIOS 設定を変更し、仮想マシンが最初に DVD 仮想デバイスから起動し、次に仮想ハードディスクから起動するようにします。

### Cisco Unity Connection 8.x 仮想マシンの起動順序の変更手順

- ステップ 1 VMware vSphere Client で、OVA テンプレートが展開されている仮想マシンの電源をオフにします。
- ステップ 2 vSphere Client の左ペインで仮想マシンの名前を右クリックし、[Edit Settings] を選択します。
- ステップ 3 [Virtual Machine Properties] ダイアログボックスで、[Options] タブを選択します。
- ステップ 4 [Settings] 列の [Advanced] の下の [Boot Options] を選択します。
- ステップ 5 [Force BIOS Setup] の下の [The Next Time the Virtual Machine Boots, Force Entry into the BIOS Setup Screen] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 6 [OK] をクリックし、[Virtual Machine Properties] ダイアログボックスを閉じます。
- ステップ 7 仮想マシンの電源をオンにします。  
仮想マシンが BIOS メニューで起動します。
- ステップ 8 [Boot] メニューへ移動し、起動デバイスの一覧の 1 番目が CD-ROM デバイス、2 番目がハード ドライブ デバイスになるように順序を並べ替えます。
- ステップ 9 変更内容を保存して BIOS 設定を終了します。

## 8.x インストールにおける DNS 登録の確認

DNS を使用する場合、次の手順を実行して、追加するすべてのサーバが DNS で適切に登録されていることを確認します。

### 手順

- ステップ 1 コマンド プロンプトを開きます。
- ステップ 2 各サーバに対して DNS 名で ping を実行するには、「ping *DNS\_name*」と入力します。
- ステップ 3 各サーバを IP アドレスで検索するには、「nslookup *IP\_address*」と入力します。

## 8.x インストールに関する情報の収集

表 2-7 を使用して、サーバに関する情報を記録します。この情報は、Connection クラスタ内ではない Connection サーバ、またはクラスタ内にインストールしている各 Connection サーバに関して収集します。すべての情報を入手する必要はありません。システムおよびネットワーク設定に関連する情報のみ収集してください。この表をコピーして、サーバごとに個別の表に入力情報を記録する必要があります。



(注)

フィールドの一部は省略可能であるため、設定に適用されない場合があります。たとえば、インストール時に SMTP ホストの設定を選択しない場合もパラメータは表示されますが、値を入力する必要はありません。



注意

フィールドの一部は、インストール後はソフトウェアを再インストールしない限り変更できないため、適切な値を入力するようにしてください。

表の一番右の列に、インストール後にフィールドを変更できるかどうかを示しています。また、変更可能な場合は、該当するコマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを記載しています。



注意

Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールする場合、更新されたライセンスを入手するには、表 2-7 の一覧に記載されている値の一部をインストール後に変更する必要があります。詳細については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsa8x.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsa8x.html)) の「[Managing Licenses in Cisco Unity Connection 8.x](#)」の章を参照してください。

表 2-7 サーバ設定データ

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
管理者 ID ユーザ入力欄 :	CLI へのセキュア シェル アクセス、Cisco Unified Communications Operating System Administration へのログイン、および障害復旧システムへのログインに使用する、管理者アカウント ユーザ ID を指定します。	不可。インストール後、エントリは変更できません。  (注) インストール後、管理者アカウントを追加作成することはできませんが、元の管理者アカウント ユーザ ID は変更できません。
管理者パスワード ユーザ入力欄 :	CLI へのセキュア シェル アクセス、Cisco Unified Communications Operating System Administration へのログイン、および障害復旧システムへのログインに使用する、管理者アカウントのパスワードを指定します。  パスワードは 6 文字以上の長さになるようにしてください。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set password admin</b>

表 2-7 サーバ設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
<b>アプリケーション ユーザ名</b> ユーザ入力欄:	システムにインストールされている Cisco Unity Connection Administration、Cisco Unity Connection Serviceability などのアプリケーションのデフォルト ユーザ名として使用します。   <b>注意</b> <b>unityconnection</b> をアプリケーション ユーザ名として指定しないでください。指定するとインストールは失敗します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 <b>CLI &gt; utils reset_ui_administrator_name</b>
<b>アプリケーション ユーザ パスワード</b> ユーザ入力欄:	システムにインストールされている Cisco Unity Connection Administration、Cisco Unity Connection Serviceability などのアプリケーションのデフォルト パスワードとして使用します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 <b>CLI &gt; utils reset_ui_administrator_password</b>
<b>国</b> ユーザ入力欄:	一覧から、インストールを行う該当する国を選択します。  <b>(注)</b> 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 <b>CLI &gt; set web-security</b>
<b>DHCP</b> ユーザ入力欄:	DHCP を使用してサーバのネットワーク設定を自動設定する場合は、[はい (Yes)] を選択します。  [はい (Yes)] を選択した場合、DNS 設定または固定設定の際にプロンプトが表示されません。  [いいえ (No)] を選択した場合、ホスト名、IP アドレス、IP マスク、ゲートウェイの入力が必要です。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 <b>CLI &gt; set network dhcp</b>
<b>DNS 有効</b> ユーザ入力欄:	DNS サーバがホスト名を IP アドレスへ、または IP アドレスをホスト名へ解決します。DNS サーバがない場合は、[いいえ (No)] を選択してください。  DNS サーバがある場合は、[はい (Yes)] を入力して DNS を有効にすることを推奨します。  <b>(注)</b> DNS が無効の場合、すべてのネットワーク デバイスについて、(ホスト名ではなく) 必ず IP アドレスを入力する必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 <b>CLI &gt; set network dns</b>

表 2-7 サーバ設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
DNS プライマリ ユーザ入力欄:	<p>プライマリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスを入力します。IP アドレスは、ドット付き 10 進表記 (ddd.ddd.ddd.ddd) で入力します。</p> <p>DNS が [はい (Yes)] (DNS が有効) に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <p><b>CLI &gt; set network dns</b></p>
DNS セカンダリ (省略可能) ユーザ入力欄:	<p>オプションのセカンダリ DNS サーバとして指定する DNS サーバの IP アドレスを入力します。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <p><b>CLI &gt; set network dns</b></p>
ドメイン ユーザ入力欄:	<p>このマシンが配置されているドメインの名前を表します。</p> <p>DNS が [はい (Yes)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <p><b>CLI &gt; set network domain</b></p>
ゲートウェイ アドレス ユーザ入力欄:	<p>ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスを入力します。</p> <p>ゲートウェイがない場合も、このフィールドを 255.255.255.255 に設定する必要があります。ゲートウェイがない場合は、通信対象がサブネット上のデバイスに限られます。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <p><b>CLI &gt; set network gateway</b></p>
ホスト名 ユーザ入力欄:	<p>サーバに対する一意のホスト名を入力します。</p> <p>ホスト名は 64 文字以内で指定でき、英数字およびハイフンを使用できます。先頭の文字にハイフンは使用できません。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <p>詳細については、『<i>Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection</i>』 (<a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html</a>) の「Renaming Cisco Unity Connection 8.x Servers」の章を参照してください。</p>
IP アドレス ユーザ入力欄:	<p>サーバの IP アドレスを入力します。</p> <p>DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。</p>	<p>可。インストール後、エントリを変更できます。</p> <p>詳細については、『<i>Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection</i>』 (<a href="http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html">http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html</a>) の「Changing the IP Addresses of Cisco Unity Connection 8.x Servers」の章を参照してください。</p>

表 2-7 サーバ設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
IP マスク ユーザ入力欄:	このマシンの IP サブネット マスクを入力します。  DHCP が [いいえ (No)] に設定されている場合、このフィールドは必須になります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set network ip eth0</b>
場所 ユーザ入力欄:	サーバの場所を入力します。  システムはこの情報を使用して、証明書署名要求 (CSR) を生成します。CSR は、サードパーティの証明書を入手する際に使用されます。  組織内でわかりやすい場所を入力できます。たとえば、サーバが配置されている州や市などです。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set web-security</b>
MTU サイズ ユーザ入力欄:	最大伝送ユニット (MTU) は、このホストがネットワーク上で伝送する最大パケット (バイト) を表します。  ネットワークの MTU サイズ (バイト) を入力します。ネットワークの MTU 設定が不明の場合は、デフォルト値を使用してください。  デフォルト: 1500 バイト  MTU 設定は、クラスタ内の両方のサーバで同じにする必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set network mtu</b>
NIC 二重化 ユーザ入力欄:	ネットワーク インターフェイス カード (NIC) のデュプレックス モードを全二重または半二重のいずれかに選択します。  (注) このパラメータは、自動ネゴシエーションを使用しないことを選択している場合のみ表示されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set network nic</b>
NIC 速度 ユーザ入力欄:	NIC の速度を 10 メガビット/秒または 100 メガビット/秒のいずれかに選択します。  (注) このパラメータは、自動ネゴシエーションを使用しないことを選択している場合のみ表示されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。  CLI > <b>set network nic</b>

表 2-7 サーバ設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
NTP サーバ ユーザ入力欄:	<p>同期する 1 台または複数のネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。</p> <p>最大 5 台の NTP サーバを入力できます。</p> <p><b>(注)</b> 互換性、精度、ネットワークのジッタに関する問題が生じる可能性を避けるため、プライマリ ノードに対して指定する外部 NTP サーバは NTP v4 (バージョン 4) である必要があります。IPv6 アドレスを使用している場合、外部 NTP サーバは NTP v4 である必要があります。</p> <p><b>(注)</b> 仮想マシンに Cisco Unity Connection をインストールする場合は、NTP サーバを 1 つ以上指定する必要があります。</p>	<p>可。インストール後、Cisco Unified Communications Operating System を使用してエントリを変更できます。</p> <p>[設定 (Settings) ] &gt; [NTP サーバ (NTP Servers) ]</p>
組織 ユーザ入力欄:	<p>組織の名前を入力します。</p> <p><b>ヒント</b> このフィールドには、複数の組織ユニットを入力できます。複数の組織ユニット名を入力する場合は、コンマを使ってエントリを区切ります。コンマを含む組織ユニット名の場合は、エントリの一部として含まれるコンマの前にバックスラッシュを入れてください。</p> <p><b>(注)</b> 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。</p>	<p>可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。</p> <p><b>CLI &gt; set web-security</b></p>

表 2-7 サーバ設定データ (続き)

パラメータ	説明	インストール後のエントリ変更の可否
<b>セキュリティ パスワード</b> ユーザ入力欄 :	クラスタ内のサーバは、相互に通信する際にセキュリティ パスワードを使用します。 このパスワードは、6 文字以上の英数字にする必要があります。ハイフンおよび下線を使用できますが、先頭は英数字にする必要があります。 <b>(注)</b> このパスワードを保存してください。Connection クラスタの場合、パブリッシャ サーバとサブスクライバ サーバの両方において、同じセキュリティ パスワードを入力する必要があります。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > <b>set password security</b>  <b>注意</b> Connection クラスタが設定されている場合は、パブリッシャ サーバとサブスクライバ サーバの間の通信が失われるのを避けるため、両方のサーバでセキュリティ パスワードを変更し、両方のサーバを再起動する必要があります。詳細については、『 <i>Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Solutions</i> 』にあるこのコマンドの説明を参照してください。
<b>SMTP の場所</b> ユーザ入力欄 :	発信 E メールで使用する、SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。 ホスト名には英数字、ハイフン、ピリオドを使用できますが、先頭は英数字にする必要があります。 <b>(注)</b> 電子通知の使用を予定している場合は、必ずこのフィールドに入力してください。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > <b>set smtp</b>
<b>州</b> ユーザ入力欄 :	サーバが配置されている場所を入力します。 <b>(注)</b> 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > <b>set web-security</b>
<b>タイムゾーン</b> ユーザ入力欄 :	ローカル タイムゾーンおよびグリニッジ標準時 (GMT) との時差を指定します。 マシンの場所に最も近いタイムゾーンを選択します。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > <b>set timezone</b>
<b>ユニット</b> ユーザ入力欄 :	ユニットを入力します。 <b>(注)</b> 入力値は、証明書署名要求 (CSR) を生成する際に使用されます。	可。インストール後、次の CLI コマンドを使用してエントリを変更できます。 CLI > <b>set web-security</b>

# Cisco Unified Communications Answer File Generator の使用

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、Cisco Unity Connection の無人インストール用応答ファイルを生成する Web アプリケーションです。個別の応答ファイルが USB キーまたはフロッピーディスクのルート ディレクトリにコピーされ、Cisco Unity Connection DVD と共にインストール処理中に使用されます。

この Web アプリケーションは、次の機能をサポートしています。

- パブリッシャ サーバおよびすべてのサブスクリバ サーバの無人インストール用応答ファイルを同時に生成し、保存できます。
- データ入力 of 構文を検証できます。
- オンライン ヘルプおよびマニュアルが提供されています。

使用に関して、以下の要件が適用されます。

- この Web アプリケーションがサポートするのは新規インストールのみです。アップグレードはサポートしていません。
- パブリッシャ サーバで DHCP クライアントを使用している場合にサブスクリバ サーバの応答ファイルも生成する場合は、パブリッシャ サーバの IP アドレスを指定する必要があります。

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、次の URL で入手できます。

[http://www.cisco.com/web/cuc\\_afg/index.html](http://www.cisco.com/web/cuc_afg/index.html)

Cisco Unified Communications Answer File Generator は、Internet Explorer 6.0 以降、および Mozilla 1.5 以降をサポートしています。



(注)

Linux 2.4 対応の USB キーを使用してください。Linux 2.4 の設定ファイル互換用にあらかじめフォーマットされている USB キーの使用を推奨します。これらのキーのフォーマットは W95 FAT32 です。

## 8.x インストール中のネットワーク エラーの処理

インストール処理中、入力されたネットワーク設定を使ってサーバがネットワークに正常に接続できるかどうか、インストールプログラムによって検証されます。接続できない場合はメッセージが表示され、次のいずれかのオプションを選択するよう求められます。

- [再試行 (RETRY)] : インストールプログラムによって、ネットワークの検証が再試行されます。再び検証が失敗した場合は、もう一度エラー ダイアログボックスが表示されます。
- [確認 (インストールのチェック) (REVIEW (Check Install))] : このオプションでは、ネットワーク設定を確認して変更できます。検出されると、インストールプログラムはネットワーク設定ウィンドウに戻ります。  
ネットワーク ウィンドウの入力を完了するたびにネットワークが検証されるため、メッセージが何度も表示される場合があります。
- [停止 (HALT)] : インストールを停止します。ネットワーク設定のトラブルシューティングを行うため、インストール ログ ファイルを USB ディスクへコピーできます。



(注)

仮想マシンにインストールされている Cisco Unity Connection では、USB ドライブはサポートされません。

- [無視 (IGNORE) ]: インストールを続行します。ネットワーク エラーは、ログに記録されます。場合によっては、インストール プログラムによるネットワークの検証が複数回行われ、このエラー ダイアログ ボックスが複数回表示されることがあります。ネットワーク エラーを無視することを選択すると、インストールが失敗する場合があります。

## オペレーティング システムおよび 8.x アプリケーションの新規インストール

この項では、オペレーティング システムおよび Cisco Unity Connection アプリケーションのインストール方法を説明します。オペレーティング システムおよびアプリケーションのインストールは、インストール プログラムを実行して行います。

- 「インストール ウィザードの操作」 (P.2-22)
- 「インストールの開始」 (P.2-22)
- 「事前準備した設定情報の入力」 (P.2-25)
- 「パッチの適用」 (P.2-26)
- 「基本インストールの実行」 (P.2-29)
- 「Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定」 (P.2-31)
- 「Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定」 (P.2-32)

### インストール ウィザードの操作

インストール ウィザードの操作方法の説明については、表 2-8 を参照してください。

表 2-8 インストール ウィザードの操作

操作内容	使用するキー
次のフィールドへ移動する	Tab
前のフィールドへ移動する	Alt+Tab
オプションを選択する	Space バーまたは Enter
一覧を上下へスクロールする	↑または←
前のウィンドウへ移動する	Space バーまたは Enter を押し、[ 戻る (Back) ] を選択 (使用可能な場合)
ウィンドウに関するヘルプ情報を参照する	Space バーまたは Enter を押し、[ ヘルプ (Help) ] を選択 (使用可能な場合)

### インストールの開始

インストールを開始するには、次の手順に従います。



- (注) Cisco Unity Connection ソフトウェアがプレインストールされている新しいサーバの場合は、新しい製品リリースによりサーバを再イメージ化する場合を除き、Connection を再インストールする必要はありません。直接、「事前準備した設定情報の入力」 (P.2-25) の手順に進んでください。

## 手順

- ステップ 1** Answer File Generator で生成した設定情報が入った USB キーがある場合は、この時点で挿入します。
- ステップ 2** インストール DVD をトレイにセットし、DVD から起動するようにサーバを再起動します。サーバの起動処理が完了すると、[DVD が見つかりました (DVD Found)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** メディア チェックを実行する場合は、[はい (Yes)] を選択します。メディア チェックをスキップする場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- メディア チェックでは、DVD の整合性がチェックされます。以前にメディア チェックをパスした DVD の場合は、メディア チェックのスキップを選択できます。
- ステップ 4** [はい (Yes)] を選択してメディア チェックを実行すると、[メディア チェック結果 (Media Check Result)] ウィンドウが表示されます。次のタスクを実行します。
- [メディア チェック結果 (Media Check Result)] で [合格 (Pass)] と表示された場合は、[OK] を選択してインストールを続行します。
  - メディアがメディア チェックに失敗した場合は、別のコピーを Cisco.com からダウンロードするか、別の DVD を直接シスコから入手します。
- ステップ 5** システムが正しく設定されていることを確認するため、システム インストーラにより以下のハードウェア チェックが実行されます。インストーラによってハードウェア設定が変更される場合は、システムを再起動するよう求められます。再起動の間も DVD はドライブに入れたままにしておいてください。
- インストール処理では、最初にドライバが正しいかどうかの確認が行われ、次のような警告が表示される場合があります。  

```
No hard drives have been found. You probably need to manually choose device drivers for install to succeed. Would you like to select drivers now?
```

  
インストールを続けるには、[はい (Yes)] を選択します。
  - 次に、サポートされているハードウェア プラットフォームがあるかどうかの確認が行われます。サーバがハードウェア要件を正しく満たしていない場合、インストール処理は致命的なエラーにより失敗します。エラー内容が正しくないと思われる場合は記録して、シスコのサポートへ報告してください。
  - 次に、RAID 設定および BIOS 設定が検証されます。
-  **(注)** この手順が繰り返された場合は、もう一度 [はい (Yes)] を選択してください。
- インストール プログラムで BIOS 更新プログラムをインストールする必要がある場合は、システムの再起動が必要であることを知らせる通知が表示されます。何かキーを押すとインストールが続行されます。
- ハードウェア チェックが完了すると、[製品展開の選択 (Product Deployment Selection)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 6** [製品展開の選択 (Product Deployment Selection)] ウィンドウでは、インストールする製品を選択して [OK] を選択します。次のオプションの中から選択できます。
- Cisco Unified Communications Manager
  - Cisco Unity Connection
  - Cisco Unified Communications Manager Business Edition (Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection を含む)



(注) このウィンドウでは、ハードウェアでサポートされる製品とサポートされない製品が示されます。サポートされる製品が 1 つだけの場合は、インストールする製品の選択は行いません。



(注) サーバでサポートされない製品が 1 つまたは複数ある場合は、その情報も表示されます。Cisco Unity Connection がサーバでサポートされない製品として表示される場合は、サーバが Connection 8.x の仕様を満たしているか確認してください。『Cisco Unity Connection 8.<x> Supported Platforms List』 ([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_data\\_sheets\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_data_sheets_list.html)) の「Cisco Unity Connection Supported Servers」の項にある、サーバモデルが該当する表を参照してください (メモリの増設が必要な場合は、インストールを再開する前に、「増設メモリの取り付けまたはハードディスクの交換 (一部の 8.x サーバのみ)」(P.2-11) を参照してください)。

**ステップ 7** サーバに現在ソフトウェアがインストールされている場合は、[ハード ドライブの上書き (Overwrite Hard Drive)] ウィンドウが開き、ハード ドライブに現在あるソフトウェアのバージョンと、DVD にあるバージョンが表示されます。インストールを続ける場合は [はい (Yes)]、中止する場合は [いいえ (No)] を選択します。

**注意**

[ハード ドライブの上書き (Overwrite Hard Drive)] ウィンドウで [はい (Yes)] を選択すると、ハード ドライブにある既存のデータはすべて上書きされて消去されます。

[プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 8** 次の手順に従って、該当するオプションを選択します。

- Cisco Unity Connection ソフトウェアがすでにサーバにインストールされている場合は [スキップ (Skip)] をクリックし、「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。
- 標準のインストールを実行する場合は [続行 (Proceed)] をクリックし、この手順を続けます。
- 無人インストールを実行する場合は [スキップ (Skip)] をクリックし、「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。無人インストールでは、事前準備した設定情報を USB キーまたはフロッピーディスク上に用意します。
- ソフトウェアをすぐインストールし、設定を後で行う場合は、[スキップ (Skip)] をクリックして「事前準備した設定情報の入力」(P.2-25) に進みます。このインストール方法は他の方法よりも時間がかかることがあります。

**ステップ 9** 次の手順に従って、実行するインストールの種類を選択します。

[追加リリースの適用 (Apply Additional Release)] ウィンドウで、次の中からオプションを選択します。

- インストール中に、ソフトウェアの新しいサービス リリースへのアップグレードを行うには [はい (Yes)] を選択し、「パッチの適用」(P.2-26) に進みます。
- この手順をスキップするには、[いいえ (No)] を選択します。
- 前のウィンドウに戻るには、[戻る (Back)] を選択します。

**ステップ 10** [基本インストール (Basic Install)] ウィンドウで [続行 (Continue)] を選択し、DVD にあるソフトウェア バージョンのインストールまたはプレインストール ソフトウェアの設定を行って、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

## 事前準備した設定情報の入力

サーバに製品がプレインストールされている場合、または [プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウにおいて [スキップ (Skip)] を選択した場合は、この手順から開始してください。

### 手順

**ステップ 1** システムの再起動後、[事前準備したインストール設定 (Preexisting Installation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Answer File Generator で事前準備した設定情報を作成し、フロッピーディスクまたは USB キーに保存した場合は、フロッピーディスクまたは USB キーをこの時点で挿入し、[続行 (Continue)] を選択します。インストレーション ウィザードによって、この設定情報がインストール処理中に読み込まれます。



**(注)** システムで新しいハードウェアが検出されたことを示すポップアップ ウィンドウが表示された場合は、何かキーを押し、その次のウィンドウで [インストール (Install)] を選択してください。

[プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] を続行するには、[続行 (Proceed)] を選択します。

**ステップ 4** 次の手順に従って、実行するインストールの種類を選択します。

[追加リリースの適用 (Apply Additional Release)] ウィンドウで、次の中からオプションを選択します。

- インストール中に、ソフトウェアの新しいサービス リリースへのアップグレードを行うには [はい (Yes)] を選択し、「パッチの適用」(P.2-26) に進みます。
- この手順をスキップするには、[いいえ (No)] を選択します。
- 前のウィンドウに戻るには、[戻る (Back)] を選択します。

**ステップ 5** [基本インストール (Basic Install)] ウィンドウで [続行 (Continue)] を選択します。「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

## パッチの適用

[パッチの適用 (Apply a Patch)] ウィンドウで [はい (Yes)] を選択した場合、インストレーション ウィザードではまず DVD にあるソフトウェア バージョンがインストールされ、次にシステムが再起動されます。インストール中にアップグレードを行うには、適切なアップグレード ファイルを Cisco.com から事前に入手しておく必要があります。



**(注)** サポートされる新しいリリースへのアップグレードは、ES や SR ではないフルパッチがある場合にのみ実行できます。ES または SR の場合は、同じメンテナンス リリース内の新しいサービス リリースへのアップグレードのみが可能です。

インストール処理中、ローカル ディスク (DVD) か、リモートの FTP または SFTP サーバのいずれかのアップグレード ファイルにアクセスできます。

### 手順

**ステップ 1** [インストール アップグレード取得メカニズムの設定 (Install Upgrade Retrieval Mechanism Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** アップグレード ファイルの取得に使用する、アップグレード取得メカニズムを次の中から選択します。

- [SFTP]: リモート サーバから、セキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用してアップグレード ファイルを取得します。「リモート サーバからのアップグレード」(P.2-27) に進みます。
- [FTP]: リモート サーバから、ファイル転送プロトコル (FTP) を使用してアップグレード ファイルを取得します。「リモート サーバからのアップグレード」(P.2-27) に進みます。
- [ローカル (LOCAL)]: ローカル DVD からアップグレード ファイルを取得します。「ローカル ディスクからのアップグレード」(P.2-26) に進みます。

## ローカル ディスクからのアップグレード

ローカル ディスクからのアップグレードを行うには、Cisco.com からダウンロードした適切なパッチ ファイルを使用して、事前にアップグレード DVD を作成しておく必要があります。アップグレード ファイルの ISO イメージを DVD 上に作成してください。ISO ファイルを DVD にコピーするだけではうまく行きません。

## 手順

- ステップ 1** [ローカルパッチの設定 (Local Patch Configuration)] ウィンドウが表示されたら、必要に応じてパッチのディレクトリと名前を入力し、[OK] を選択します。
- [インストールアップグレードパッチ選択の確認 (Install Upgrade Patch Selection Validation)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** DVD 上にあるパッチファイルがウィンドウに表示されます。このパッチを使用してシステムをアップグレードするには、[続行 (Continue)] を選択します。
- ステップ 3** インストールするアップグレードパッチを選択します。システムによってパッチのインストールが行われ、アップグレードされたソフトウェアバージョンを実行中の状態でシステムが再起動されます。
- システムが再起動すると、[事前準備した設定情報 (Preexisting Configuration Information)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** インストールを続けるには、[続行 (Proceed)] を選択します。
- [プラットフォーム インストレーション ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** インストールを続ける場合は [続行 (Proceed)]、中止する場合は [キャンセル (Cancel)] を選択します。
- [続行 (Proceed)] を選択した場合は [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されます。ステップ 6 に進みます。
- [キャンセル (Cancel)] を選択するとシステムは停止し、安全にサーバの電源を切ることができます。
- ステップ 6** [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されたら、[いいえ (No)] を選択します。
- ステップ 7** [Windows のアップグレード (Windows Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** [いいえ (No)] を選択して、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

## リモートサーバからのアップグレード

リモートサーバからのアップグレードを行う前に、Cisco.com から適切なパッチファイルを、サーバがアクセスできる FTP または SFTP サーバへダウンロードしておく必要があります。

任意の SFTP サーバ製品を使用できますが、シスコが Cisco Technology Developer パートナー プログラム (CTDP) を通じて認定した SFTP 製品の使用を推奨します。GlobalSCAPE などの CTDP パートナーは、特定のバージョンの Cisco Unified Communications Manager での製品の使用を認定しています。お使いのバージョンの Cisco Unified Communications Manager がどのベンダーで認定されているかの詳細については、<http://www.cisco.com/cgi-bin/ctdp/Search.pl> を参照してください。サポートされている Cisco Unified Communications のバージョンでの GlobalSCAPE の使用の詳細については、<http://www.globalscape.com/gsftps/cisco.aspx> を参照してください。シスコでは、内部テストで次のサーバを使用しています。これらのサーバのいずれかを使用できますが、サポートについてはベンダーに問い合わせてください。

- Open SSH (Unix システム用。 <http://sshtwindows.sourceforge.net/> を参照)
- Cygwin (<http://www.cygwin.com/>)
- Titan (<http://www.titanftp.com/>)



(注)

CTDP プロセスで認定されていないサードパーティ製品に関する問題については、サードパーティベンダーに問い合わせるサポートを依頼してください。

リモート サーバへの FTP または SFTP 接続によるアップグレードを選択した場合は、サーバがネットワークに接続できるよう、最初にネットワーク設定を設定する必要があります。

## 手順

**ステップ 1** [自動ネゴシエーション設定 (Auto Negotiation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** インストール処理では、自動ネゴシエーションを使って、イーサネットのネットワーク インターフェイス カード (NIC) の速度と二重化設定を自動的に設定できます。この設定はインストール後に変更できます。



**(注)** このオプションを使用するには、ハブまたはイーサネット スイッチで自動ネゴシエーションがサポートされている必要があります。

- 自動ネゴシエーションを有効にするには、[はい (Yes)] を選択します。  
[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。 [ステップ 4](#) に進みます。
- 自動ネゴシエーションを無効にするには、[いいえ (No)] を選択します。[NIC の速度および二重化の設定 (NIC Speed and Duplex Configuration)] ウィンドウが表示されます。 [ステップ 3](#) に進みます。

**ステップ 3** 自動ネゴシエーションを無効に選択した場合はここで適切な NIC の速度と二重化の設定を手動で選択し、[OK] を選択して続行します。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウでは、MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更できます。

最大伝送ユニット (MTU) は、このホストがネットワーク上で伝送する最大パケット (バイト) を表します。ネットワークの MTU 設定が不明の場合は、デフォルト値を使用してください。



### 注意

MTU サイズを正しく設定しなかった場合、ネットワークのパフォーマンスに影響する場合があります。

- デフォルト値 (1500 バイト) を使用する場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更する場合は [はい (Yes)] を選択し、新しい MTU サイズを入力して [OK] を選択します。

[DHCP 設定 (DHCP Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** ネットワーク設定では、サーバとゲートウェイに対して固定ネットワーク IP アドレスを設定するか、ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) を使用するかを選択できます。固定 IP アドレスを推奨します。DHCP を使用する場合は、固定 DHCP を使用します。

- ネットワーク内に設定されている DHCP サーバがない場合に DHCP を使用する場合は、[はい (Yes)] を選択します。インストール処理により、ネットワーク接続の確認が行われます。 [ステップ 8](#) に進みます。
- サーバに対して固定 IP アドレスを設定する場合は、[いいえ (No)] を選択します。[固定ネットワーク設定 (Static Network Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** DHCP を使用しないことを選択している場合は、固定ネットワーク設定の値を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、 [表 2-7](#) を参照してください。

[DNS クライアント設定 (DNS Client Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 7** DNS を有効にするには [はい (Yes)] を選択し、DNS クライアントの情報を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-7 を参照してください。
- システムによりネットワークの設定と接続の確認が行われた後、[リモートパッチ設定 (Remote Patch Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 8** リモート ファイル サーバの場所とログイン情報を入力します。システムによりリモート サーバへ接続され、使用可能なアップグレード パッチの一覧が取得されます。
- アップグレード ファイルが Linux サーバまたは Unix サーバ上にある場合は、ディレクトリ パスの先頭にスラッシュを入力する必要があります。たとえば、アップグレード ファイルが patches ディレクトリ内にある場合は、「/patches」と入力する必要があります。
- アップグレード ファイルが Windows サーバ上にある場合は、FTP サーバまたは SFTP サーバに接続していることを確認し、以下を含め適切な構文を使用します。
- パスの先頭はスラッシュ (/) で始め、パス全体でスラッシュを使用します。
  - パスは、サーバの FTP または SFTP ルート ディレクトリで始まる必要があります。「C:」などのドライブ レターで始まる Windows 絶対パスは入力できません。
- [インストール アップグレード パッチ選択 (Install Upgrade Patch Selection)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 9** インストールするアップグレード パッチを選択します。システムによってパッチのダウンロード、展開、インストールが行われ、アップグレードされたソフトウェア バージョンを実行中の状態でシステムが再起動されます。
- システムが再起動すると、[事前準備した設定情報 (Preexisting Configuration Information)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 10** インストールを続けるには、[続行 (Proceed)] を選択します。
- [プラットフォーム インストール ウィザード (Platform Installation Wizard)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 11** インストールを続ける場合は [続行 (Proceed)]、中止する場合は [キャンセル (Cancel)] を選択します。
- [続行 (Proceed)] を選択した場合は [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されます。ステップ 12 に進みます。
- [キャンセル (Cancel)] を選択するとシステムは停止し、安全にサーバの電源を切ることができます。
- ステップ 12** [パッチの適用 (Apply Patch)] ウィンドウが表示されたら、[いいえ (No)] を選択します。
- ステップ 13** [Windows のアップグレード (Windows Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 14** [いいえ (No)] を選択して、「基本インストールの実行」(P.2-29) に進みます。

## 基本インストールの実行

### 手順

- ステップ 1** [タイムゾーン設定 (Timezone Configuration)] が表示されたら、サーバの適切なタイムゾーンを選択して、[OK] を選択します。
- [自動ネゴシエーション設定 (Auto Negotiation Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** インストール処理では、自動ネゴシエーションを使って、イーサネットのネットワーク インターフェイス カード (NIC) の速度と二重化設定を自動的に設定できます。この設定はインストール後に変更できます。

- 自動ネゴシエーションを有効にするには、[はい (Yes)] を選択して**ステップ 5**に進みます。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。



**(注)** このオプションを使用するには、ハブまたはイーサネット スイッチで自動ネゴシエーションがサポートされている必要があります。

- 自動ネゴシエーションを無効にするには、[いいえ (No)] を選択して**ステップ 3**に進みます。

[NIC の速度および二重化の設定 (NIC Speed and Duplex Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 自動ネゴシエーションを無効に選択した場合はここで適切な NIC の速度と二重化の設定を手動で選択し、[OK] を選択して続行します。

[MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [MTU 設定 (MTU Configuration)] ウィンドウでは、MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更できます。

最大伝送ユニット (MTU) は、このホストがネットワーク上で伝送する最大パケット (バイト) を表します。ネットワークの MTU 設定が不明の場合は、デフォルト値 (1500 バイト) を使用してください。



**注意**

MTU サイズを正しく設定しなかった場合、ネットワークのパフォーマンスに影響する場合があります。

- デフォルト値 (1500 バイト) を使用する場合は、[いいえ (No)] を選択します。
- MTU サイズをオペレーティング システムのデフォルトから変更する場合は [はい (Yes)] を選択し、新しい MTU サイズを入力して [OK] を選択します。

[DHCP 設定 (DHCP Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** ネットワーク設定では、サーバに対して固定ネットワーク IP アドレスを設定するか、ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) を使用するかを選択できます。固定 IP アドレスを推奨します。DHCP を使用する場合は、固定 DHCP を使用します。

- ネットワーク内に設定されている DHCP サーバがない場合に DHCP を使用する場合は、[はい (Yes)] を選択します。ネットワークが再開され、[管理者ログイン設定 (Administrator Login Configuration)] ウィンドウが表示されます。**ステップ 8**に進みます。
- サーバに対して固定 IP アドレスを設定する場合は、[いいえ (No)] を選択します。[固定ネットワーク設定 (Static Network Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** DHCP を使用しないことを選択している場合は、固定ネットワーク設定の値を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-7 を参照してください。

[DNS クライアント設定 (DNS Client Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** DNS を有効にするには [はい (Yes)] を選択し、DNS クライアントの情報を入力して [OK] を選択します。フィールドの説明については、表 2-7 を参照してください。

ネットワークが新しい設定情報を使用して再開され、[管理者ログイン設定 (Administrator Login Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 8** 表 2-7 の管理者ログインおよびパスワードを入力します。



(注) 管理者ログインはアルファベットで始まり、6文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。Cisco Unified Communications Operating System Administration、コマンドライン インターフェイス、および障害復旧システムにログインするには、管理者ログインが必要です。

[ 認証情報 (Certificate Information) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 9** 証明書署名要求を入力して、[OK] を選択します。

[ 最初のノードの設定 (First Node Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 10** Connection クラスタ内の最初のサーバ (パブリッシャ サーバ)、クラスタ内の 2 番目のサーバ (サブスクリバ サーバ)、または Connection クラスタなしのサーバとして、このサーバを設定できます。

- パブリッシャ サーバまたは Connection クラスタなしのサーバとしてこのサーバを設定するには、[はい (Yes)] を選択して「[Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定](#)」(P.2-31) に進みます。
- サブスクリバ サーバとしてこのサーバを設定するには、[いいえ (No)] を選択して「[Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定](#)」(P.2-32) に進みます。

## Connection サーバまたは Cisco Unity Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバの設定

基本インストールを終了後、次の手順に従って、Connection クラスタ内のパブリッシャ サーバまたは Connection クラスタなしのサーバとして、サーバを設定できます。

### 手順

**ステップ 1** [ ネットワーク タイム プロトコル クライアント設定 (Network Time Protocol Client Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

パブリッシャ サーバのシステム時刻を正確に保つため、外部 NTP サーバの使用を推奨します。外部 NTP サーバは Stratum 9 以上 (つまり Stratum 1 ~ 9) であるようにします。サブスクリバ サーバの時刻はパブリッシャ サーバから取得されます。



(注) Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールしている場合は、外部 NTP サーバを指定する必要があります。

**ステップ 2** 外部 NTP サーバを設定するか、システム時刻を手動で設定するかを選択します。

- 外部 NTP サーバを設定するには [はい (Yes)] を選択し、1 つ以上の NTP サーバの IP アドレス、NTP サーバ名、または NTP サーバ プール名を入力します。NTP サーバは最大 5 つ設定でき、3 つ以上使用することを推奨します。[ 続行 (Proceed) ] を選択してインストールを続けます。

システムにより NTP サーバへの問い合わせが行われ、ハードウェア クロックの時刻が自動設定されます。



(注) [ テスト (Test) ] ボタンが表示された場合、[ テスト (Test) ] を選択して NTP サーバへのアクセスが可能か確認できます。

- システム時刻を手動で設定するには [いいえ (No)] を選択し、適切な日時を入力してハードウェア クロックを設定します。[OK] を選択してインストールを続けます。

[データベース アクセス セキュリティ設定 (Database Access Security Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 表 2-7 のセキュリティ パスワードを入力します。



**(注)** セキュリティ パスワードは英数字で始まり、6 文字以上の長さである必要があります。英数字、ハイフン、および下線を使用できます。このパスワードは、システムによりパブリッシュ サーバとサブスクリバ サーバ間の通信の認証に使用され、2 つのサーバで同一にする必要があります。

[SMTP ホスト設定 (SMTP Host Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** SMTP サーバを設定する場合、[Yes (はい)] を選択して SMTP サーバ名を入力します。



**(注)** 一部のプラットフォーム機能を使用するには SMTP サーバの設定が必要です。ただし、SMTP サーバの設定は、プラットフォームの GUI またはコマンドライン インターフェイスを使用して行うこともできます。

**ステップ 5** [OK] を選択します。[アプリケーション ユーザ設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** 表 2-7 のアプリケーション ユーザ名とパスワードを入力し、パスワードをもう一度入力して確認します。

**ステップ 7** [OK] を選択します。[プラットフォーム設定確認 (Platform Configuration Confirmation)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 8** インストールを続行するには、[OK] を選択します。または、プラットフォーム設定を変更するには、[戻る (Back)] を選択します。

システムによって、ソフトウェアのインストールと設定が行われます。DVD ドライブがイジェクトされ、サーバが再起動します。DVD は再挿入しないでください。

**ステップ 9** インストール処理が完了すると、管理者アカウントとパスワードを使用してログインするよう求められます。

**ステップ 10** 「バージョン 8.x インストール後のタスク」(P.2-34) の一覧に記載されているインストール後のタスクを完了します。

## Cisco Unity Connection クラスタ内のサブスクリバ サーバの設定

クラスタ内のサブスクリバ サーバを設定するには、次の手順に従います。



### 注意

サブスクリバ サーバをインストールする前に、Cisco Unity Connection Administration を使用して、パブリッシュ サーバでサブスクリバ サーバを設定する必要があります。『Cluster Configuration and Administration Guide for Cisco Unity Connection』([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/cluster\\_administration/guide/8xcuccagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/cluster_administration/guide/8xcuccagx.html)) の「Configuring a Cisco Unity Connection 8.x Cluster」の章を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** パブリッシャ サーバでネットワーク タイム プロトコルを設定した場合は、サブスクリバ サーバをインストールする前に、NTP サーバと同期されていることを確認します。パブリッシャ サーバのコマンドライン インターフェイスから、「**utils ntp status**」と入力します。サーバが NTP サーバと同期されていることが出力に示されていることを確認します。



**(注)** パブリッシャ サーバが NTP サーバと同期されていない場合、サブスクリバ サーバのインストールは失敗します。



**(注)** Cisco Unity Connection を仮想マシンにインストールしている場合は、外部 NTP サーバを指定する必要があります。

**ステップ 2** [最初のノードの設定 (First Node Configuration) ] ウィンドウで警告を確認し、パブリッシャ サーバを正しく設定したことを確認します。サブスクリバ サーバのインストールを続行するには、[OK] をクリックします。

[ネットワーク接続テスト設定 (Network Connectivity Test Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** サブスクリバ サーバのインストール中、システムによって、サブスクリバ サーバがパブリッシャ サーバに確実に接続できるようにするためのチェックが行われます。

- システムによるネットワーク接続の検証が正常に行われた後、インストールを一時停止するには、[はい (Yes) ] を選択します。
- 一時停止したインストールを続行するには、[いいえ (No) ] を選択します。

[最初のノードのアクセス設定 (First Node Access Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** パブリッシャ サーバの接続情報を入力して [OK] を選択します。

システムにより、ネットワーク接続の確認が行われます。

システムによるネットワーク接続の検証が正常に行われた後、システムの一時停止を選択すると、[最初のノードへの接続に成功しました (Successful Connection to First Node) ] ウィンドウが表示されず。[続行 (Continue) ] を選択します。



**(注)** ネットワーク接続テストが失敗するとシステムは必ず停止し、元に戻ってパラメータ情報を再入力できます。

[SMTP ホスト設定 (SMTP Host Configuration) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** SMTP サーバを設定する場合、[Yes (はい) ] を選択して SMTP サーバ名を入力します。



**(注)** 一部のオペレーティングシステム機能を使用するには SMTP サーバの設定が必要です。ただし、SMTP サーバの設定は、オペレーティングシステムの GUI またはコマンドライン インターフェイスを使用して後で行うこともできます。

[プラットフォーム設定確認 (Platform Configuration Confirmation) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** ソフトウェアのインストールを開始するには、[OK] を選択します。または、設定を変更するには、[戻る (Back) ] を選択します。

- ステップ 7** インストール処理が完了すると、管理者アカウントとパスワードを使用してログインするよう求められます。
- ステップ 8** 「バージョン 8.x インストール後のタスク」(P.2-34) の一覧に記載されているインストール後のタスクを完了します。

## バージョン 8.x インストール後のタスク

Cisco Unity Connection をサーバにインストール後、使用を開始する前にいくつかのインストール後のタスクを実行する必要があります。タスクの一覧は、表 2-9 を参照してください。



(注)

Web アプリケーションへアクセスするには、Cisco Unity Connection サーバにネットワーク アクセスできるコンピュータから、Web ブラウザを使用する必要があります。

表 2-9 インストール後の作業

インストール後の作業	重要な注意事項
Cisco Unity Connection アプリケーション ユーザとしてログインし、アプリケーション ユーザ パスワードを変更します。	「デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更」(P.2-35) を参照してください。
Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool をインストールします。	Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用して、システム正常性をモニタしたり、ログを表示および収集したりできます。  Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool のインストール手順および詳細については、『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』を参照してください。
実行する Cisco Unity Connection の機能サービスをアクティブ化します。  機能サービスのアクティブ化の前に、必要なアクティブ化前のタスクを実行する必要があります。サービスのアクティブ化の要件については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。	『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。
バックアップ設定を設定します。  Cisco Unity Connection のデータは、毎日バックアップするようにしてください。	『Disaster Recovery System Administration Guide』を参照してください。
該当する場合は、サイトで使用しているネットワーク管理システムを設定します。	『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。

## デフォルトのアプリケーション ユーザ パスワードの変更

インストールではすべてのアプリケーション ユーザ パスワードが、インストール中に入力した同じアプリケーション ユーザ パスワードに設定されます。Cisco Unity Connection Administration にログインしてこれらのパスワードを変更することを推奨します。パスワード変更の手順については、『Cisco Unity Connection System Administration Guide』を参照してください。

## サービスのアクティブ化

すべてのサービスをサーバにインストールした場合でも、Cisco Unified Serviceability を使用して、実行するサービスを手動でアクティブ化する必要があることがあります。サービスに関する推奨事項と詳細については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』を参照してください。

## ログ ファイルの監査

インストールにおいて問題が生じた場合、コマンドライン インターフェイスで以下のコマンドを入力し、インストール ログ ファイルを監査することができます。

コマンドラインからインストール ログ ファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

```
CLI>file list install *
```

コマンドラインからログ ファイルを表示するには、次のように入力します。

```
CLI>file view install log_file
```

ここで `log_file` は、ログ ファイルの名前です。

ログは Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用して表示することもできます。Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool の使用およびインストールの詳細については、『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』を参照してください。

システムの履歴のログを表示またはダウンロードすると、インストール イベントに関するさらに詳しい情報を入手できます。『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』の「Working with Trace and Log Central」の章を参照してください。

## 仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行

仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行の詳細については、『Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection』

([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html)) の「Migrating from a Cisco Unity Connection Physical Server to a Connection 8.x Virtual Machine」の章を参照してください。

■ 仮想マシン上の Cisco Unity Connection への移行



## CHAPTER 3

# Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- 「Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード」 (P.3-1)
- 「Connection 8.x 言語ファイルのインストール」 (P.3-3)

## Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード



(注)

この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html) の『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 8.x Languages](#)」の章を参照してください。手順が異なります。

### Connection 8.x 言語ファイルをダウンロードするには

- ステップ 1** 高速インターネット接続のコンピュータで、<http://tools.cisco.com/support/downloads/pub/Redirect.x?mdfid=278875240> の音声とユニファイド コミュニケーションのダウンロード ページにアクセスします。



(注) ソフトウェア ダウンロード ページにアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてサインインする必要があります。

- ステップ 2** [ダウンロード (Downloads)] ページのツリー コントロールで、[統合された通信アプリケーション (Unified Communications Applications)] > [ボイスメールと統合されたメッセージ (Voicemail and Unified Messaging)] > [Cisco Unity Connection] の順に展開し、該当する Connection のバージョンを選択します。
- ステップ 3** [ソフトウェアの種類を選択 (Select a Software Type)] ページで、[Cisco Unity Connection ロケール インストーラ (Locale Installer)] を選択します。
- ステップ 4** [リリースの選択 (Select a Release)] ページで、該当する Connection のバージョンを選択します。ページの右側に、言語のダウンロード リンクが表示されます。
- ステップ 5** ご使用のコンピュータに、ダウンロードしたファイルに十分なハードディスク領域があることを確認します (ダウンロード ファイル のサイズは、ダウンロード リンクの下に表示されます)。

各言語のファイル名は、uc-locale-<2 文字の言語の略称>\_<2 文字の国の略称>-<バージョン>.cop.sgn です。

- ステップ 6** ダウンロードするファイルの名前を選択します。
- ステップ 7** [イメージのダウンロード (Download Image)] ページで、MD5 の値を書き留めます。
- ステップ 8** 画面上のプロンプトに従って、ダウンロードを完了します。
- ステップ 9** インストールする Connection の各言語に対して、**ステップ 6** から **ステップ 8** を繰り返します。
- ステップ 10** ダウンロードした各ファイルに対して、チェックサム ジェネレータを使用して MD5 チェックサムが Cisco.com に記載されているチェックサムと一致していることを確認します。値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルは破損しています。

**注意**

破損したファイルをソフトウェアのインストールに使用しないでください。予測不可能な結果を招きます。MD5 の値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルの値が Cisco.com に記載されている値と一致するまでファイルを再度ダウンロードします。

インターネットでは、Microsoft File Checksum Integrity Verifier ユーティリティなど、無料のチェックサム ツールを利用できます。ユーティリティについては、Microsoft サポート技術情報の記事 841290 『Availability and Description of the File Checksum Integrity Verifier Utility』に記載されています。このサポート技術情報の記事には、ユーティリティをダウンロードできるリンクも記載されています。

- ステップ 11** ダウンロードしたファイルを FTP または SFTP サーバにコピーするか、ファイルを CD または DVD に焼き付けます。ファイルのディスクを焼き付ける場合は、次の考慮事項に注意してください。
- 最大 64 文字のファイル名に対応する Joliet ファイル システムを使用します。
  - ご使用のディスク焼き付けアプリケーションに、焼き付けたディスクの内容を確認するオプションがある場合は、そのオプションを選択します。これにより、アプリケーションは焼き付けたディスクの内容をソース ファイルと比較します。
  - ディスクに「Cisco Unity Connection <バージョン> Languages」とラベルを付けます。
- ステップ 12** ダウンロードしたファイルを削除し、ディスク領域を使えるようにします。

## Connection 8.x 言語ファイルのインストール



(注)

この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html) の『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 8.x Languages](#)」の章を参照してください。手順が異なります。

Cisco Unity Connection の言語（ロケールとしても知られる）は、国別のシステム プロンプト、グラフィカル ユーザ インターフェイス、および音声入力機能を提供します。言語ファイルのインストールは、Connection サーバで CD または DVD を使用するか、リモート ソースからファイルにアクセスするかのいずれかで行えます。詳細については、次の該当する項を参照してください。

- 「[Connection 8.x 言語ファイルのディスクからのインストール](#)」(P.3-3)
- 「[ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール](#)」(P.3-4)



(注)

言語はライセンスされていません。また、Connection 8.x でインストールや使用が可能な言語の数に制限はありません。ただし、より多くの言語をインストールすると、ボイス メッセージを保存できるハードディスク領域が少なくなります。『*Cisco Unity Connection 8.x Supported Platforms List*』([http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/supported\\_platforms/8xcucspl.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/supported_platforms/8xcucspl.html)) の各サーバで利用できる領域の記録に関する情報では、インストール済みの言語は 5 つ以下と想定しています。

## Connection 8.x 言語ファイルのディスクからのインストール

### Connection 8.x 言語ファイルをディスクからインストールするには

- ステップ 1** 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
  - b. [ ツール (Tools) ] メニューから [ サービス管理 (Service Management) ] を選択します。
  - c. [ 重要なサービス (Critical Services) ] の [ Connection Conversation Manager ] 行で [ 停止 (Stop) ] を選択します。
  - d. サービスが停止するまで待ちます。
  - e. [ 重要なサービス (Critical Services) ] の [ Connection Mixer ] 行で [ 停止 (Stop) ] を選択します。
  - f. サービスが停止するまで待ちます。
- ステップ 2** ディスク ドライブに Languages ディスクを挿入します。
- ステップ 3** Cisco Unified Operating System Administration にサインインします。
- ステップ 4** [ ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades) ] メニューから、[ インストール/アップグレード (Install/Upgrade) ] を選択します。[ ソフトウェア インストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade) ] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [ ソース (Source) ] リストで [ DVD/CD ] を選択します。

- ステップ 6** [ディレクトリ (Directory) ] フィールドに、CD または DVD の言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。
- 言語ファイルがルート フォルダにあるか、ISO イメージ DVD を作成した場合は、[ディレクトリ (Directory) ] フィールドにスラッシュ (/) を入力します。
- ステップ 7** 言語のインストール プロセスを続行するには、[次へ (Next) ] を選択します。
- ステップ 8** インストールする言語を選択し、[次へ (Next) ] を選択します。
- ステップ 9** ダウンロードの経過表示をモニタします。
- ステップ 10** 別の言語をインストールする場合:[別の言語をインストール (Install Another) ] を選択し、**ステップ 4** から**ステップ 9**を繰り返します。
- 言語のインストールを終了する場合:次のようにサービスを再起動します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
  - b. [ツール (Tools) ] メニューから [サービス管理 (Service Management) ] を選択します。
  - c. [重要なサービス (Critical Services) ] の [Connection Conversation Manager] 行で [開始 (Start) ] を選択します。
  - d. サービスが開始するまで待ちます。
  - e. [重要なサービス (Critical Services) ] の [Connection Mixer] 行で [開始 (Start) ] を選択します。
  - f. サービスが開始するまで待ちます。
  - g. 日本語をインストールした場合:CLI コマンド「**utils service restart Cisco Tomcat**」を実行して、Tomcat サービスを再起動します。

## ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール

この手順では、Cisco Unified Operating System Administration にアクセス中に [更新 (Refresh) ] や [再読み込み (Reload) ] などの Web ブラウザ ボタンを使用しないでください。代わりに、管理インターフェイスのナビゲーション ボタンを使用してください。

### ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール

- ステップ 1** 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
  - b. [ツール (Tools) ] メニューから [サービス管理 (Service Management) ] を選択します。
  - c. [重要なサービス (Critical Services) ] の [Connection Conversation Manager] 行で [停止 (Stop) ] を選択します。
  - d. サービスが停止するまで待ちます。
  - e. [重要なサービス (Critical Services) ] の [Connection Mixer] 行で [停止 (Stop) ] を選択します。
  - f. サービスが停止するまで待ちます。
- ステップ 2** Cisco Unified Operating System Administration にサインインします。

**ステップ 3** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。[ソフトウェア インストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [ソース (Source)] リストで [リモート ファイルシステム (Remote Filesystem)] を選択します。

**ステップ 5** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、リモート システムの言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。

言語ファイルが Linux または Unix サーバにある場合は、フォルダ パスの先頭にスラッシュ (/) を入力します (たとえば、言語ファイルが languages フォルダにある場合は、/languages と入力する必要があります)。

言語ファイルが Windows サーバにある場合は、FTP または SFTP サーバに接続していることを確認してください。次の適切な構文を使用します。

- パスの先頭はスラッシュ (/) で始め、パス全体でスラッシュを使用します。
- パスはサーバの FTP または SFTP ルート フォルダで始める必要があります。「C:」などのドライブ レターで始まる Windows 絶対パスは入力できません。

**ステップ 6** [サーバ (Server)] フィールドにサーバ名または IP アドレスを入力します。

**ステップ 7** [ユーザ名 (Username)] フィールドにリモート サーバのユーザ名を入力します。

**ステップ 8** [ユーザ パスワード (User Password)] フィールドにリモート サーバのパスワードを入力します。

**ステップ 9** [転送プロトコル (Transfer Protocol)] リストで適切なオプションを選択します。

**ステップ 10** [次へ (Next)] を選択します。

**ステップ 11** インストールする言語を選択し、[次へ (Next)] を選択します。

**ステップ 12** ダウンロードの経過表示をモニタします。

インストール プロセス中にサーバとの接続が切れたりブラウザを閉じた場合は、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューに再度アクセスを試みた際に次のメッセージが表示される場合があります。

警告 : 別のセッションがソフトウェアをインストール中です。[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] をクリックしてインストールを引き継いでください。

セッションを引き継ぐ場合は、[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] を選択します。

[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] が表示されない場合は、Real-Time Monitoring Tool で言語のインストールをモニタすることもできます。

**ステップ 13** 別の言語をインストールする場合 : [別の言語をインストール (Install Another)] を選択し、[ステップ 3](#) から [ステップ 12](#) を繰り返します。

言語のインストールを終了する場合 : 次のようにサービスを再起動します。

- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
- b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
- c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] 行で [開始 (Start)] を選択します。
- d. サービスが開始するまで待ちます。
- e. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] 行で [開始 (Start)] を選択します。
- f. サービスが開始するまで待ちます。
- g. 日本語をインストールした場合 : CLI コマンド「**utils service restart Cisco Tomcat**」を実行して、Tomcat サービスを再起動します。

